

Ⅱ 社 会 教 育

１ 本 年 度 の あ ゆ み

「町ぐるみ『和木学園』構想」を基本として、教育目標「ふるさと和木に誇りと愛着を持ち、和木の将来を担う人づくり」の実現をめざし、生涯学習環境の整備に取り組んだ。特に、「緑の風薫る文化のまち和木町」を支える「いつでも、どこでも、だれでも学べる環境」をつくるため、「人材育成と組織の連携」、「施設の充実・活用」、「学習機会と情報の提供」を重点ポイントに位置付けている。

◇「人材育成と組織の連携」

町民一人ひとりが「豊かな学び」、「豊かな体験」を享受できることを目指して、「町ぐるみ『和木学園』構想」を実践しており、その中で様々な講座を開設したり、県主催の研修会への参加を呼びかけたりすることで、地域を支える人材の育成に努めた。「和木町コミュニティ・スクール委員会」では、各組織が連携して「めざす子ども像」を協議することにより、やまぐち型地域連携教育を展開することをめざしている。園小中合同での研修会を持つことで思いの共有を図ることができ、より連携を強固にすることができた。今後も、こどもの育ち、連続的な学びを見守っていくことを大切にしていきたい。

今年度は少しずつではあるがコロナ禍以前の活動も行うことができた。その中で、地域人材の「役割の集中」と「高齢化」をより実感した。活動を通じて「新たな繋がりづくり」と「人材発掘」を図ることが今後の課題といえる。

◇「施設の充実・活用」

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を施しながら、様々な社会教育団体が各施設をバランスよく使用し、活動している。利用率が下がっている小・中学校のコミュニティ・ルームの利用を促し活性化していくことで、地域連携教育のさらなる充実・発展をめざしたい。「こども園」のコミュニティ・スクールとしてのさらなる活用・充実にも期待している。

◇「学習機会と情報の提供」

少しずつコロナ禍前の活動が戻りつつあるとはいえ、今年度も安全面への配慮から、講座やイベントの実施を見合わせることもあった。今後も安心・安全が確保をし、町民の人生が楽しく、充実したものになるような場面をたくさん生み出していく必要がある。理想を形にするためには熟議等で「思いを共有」していくことが大切であるし、活動が制限されたとしても「何ができるか」を前向きに検討していく姿勢が必要となってくる。

「町民一人ひとりが当事者」となることが「町ぐるみ」に繋がると考える。今後とも、わかりやすく身近に感じる形で伝えることで、周知・共有を図っていきたい。

1 社会教育全般

(1) 和木町コミュニティ・スクール委員

氏 名	所 属	職 名	備 考
湯浅 正行	コミュニティ・スクール委員会	委員長	会長
轟 真由美	和木小学校学校運営協議会	会長	
守田 浩	和木中学校学校運営委員会	会長	
村上 邦明	地域	地域代表	
岡田 康彦	和木町地域協育ネット	コーディネーター	
崎本みどり	和木町地域協育ネット	コーディネーター	
吉川 健治	和木町PTA連合会	会長	
中野さつき	和木町子ども会育成連絡協議会	副会長	
山瀧 芳久	和木町体育協会	会長	
松本 康夫	和木町文化協会	会長	
米本 道江	すくすくフェスタ実行委員会	委員長	
楯田 理江	和木町家庭教育支援チーム	会長代理	
渡邊真奈美	和木町保健相談センター	所長	
佐伯 公夫	和木こども園	園長	
折出美保子	和木小学校	校長	
亀谷 秀雄	和木中学校	校長	
岸本 京子	和木こども園	副園長	
松井千登世	和木こども園	副園長	
中元 啓二	和木小学校	教頭	
米山 仁武	和木中学校	教頭	
黒川 慶子	和木町教職員研修会	学力向上（こども園）	
村田 愛	和木町教職員研修会	学力向上（小学校）	
杉岡 匠	和木町教職員研修会	学力向上（中学校）	
福成 莉沙	和木町教職員研修会	心の教育（こども園）	
吉田 幸司	和木町教職員研修会	心の教育（小学校）	
安達 涼子	和木町教職員研修会	心の教育（中学校）	
松田香奈江	和木町教職員研修会	体力向上（こども園）	
宇治野曉子	和木町教職員研修会	体力向上（小学校）	
光貞 賢志	和木町教職員研修会	体力向上・地域担当（中学校）	
横山 健一	和木小学校	地域担当	
前田 一平	和木中学校	教務主任	

(2) 和木町コミュニティ・スクール委員会

和木町 コミュニティ・スクール 委員会	第1回 4月27日（水） 文化会館研修室	報告事項 ・所管説明 各部会の取組について 協議 「学校・地域連携カリキュラムにおける 重点項目の決定とその取組について」
	第2回 8月9日（火） 文化会館講習室	協議 「取組の進捗状況及び今後の展開について」
	第3回 2月24日（金） 文化会館講習室	報告事項 ・今年度の取組について 協議 「学校・地域連携カリキュラムの見直しと 今後について」

(3) 社会教育委員

役 職	氏 名	所 属	備 考
委員	佐伯 公夫	和木こども園 園長	
委員	小林 直樹	和木こども園 P T A 会長	
委員	折出美保子	和木小学校 校長	
委員	藤田 大輔	和木小学校 P T A 会長	
委員	亀谷 秀雄	和木中学校 校長	
委員	吉川 健治	和木中学校 P T A 会長	
委員	坂田 直美	和木町子ども会育成連絡協議会 会長	
委員	藤本 亮恵	和木町婦人会 会長	
委員	山瀧 芳久	和木町体育協会 会長	
委員	嶋谷 保則	和木町老人クラブ連合会 第六喜楽会会長	
委員	松本 康夫	和木町文化協会 会長	副議長
委員	湯浅 正行	和木町社会福祉協議会 会長	議長
委員	坪内 拓也	ENEOS 株式会社麻里布製油所 企業代表	

(4) 社会教育委員会議

社会教育委員会議	第 1 回 6 月 2 0 日 (月) 文化会館講習室	所管事項説明 ・令和 4 年度山口県教育重点施策 ・令和 4 年度和木町教育方針 協議題 ・社会教育施設経営方針並びに事業計画について ・国・県社会教育関係事業について ・町社会教育関係事業計画について
	第 2 回 1 0 月 3 日 (月) 文化会館講習室	報告事項 ・和木町社会教育の推進状況について (4 月～9 月) ・成人式について 協議題 ・1 0 月～3 月社会教育関係行事について ・あいさつ運動作品審査について
	第 3 回 3 月 2 0 日 (月) 文化会館講習室	報告事項 ・和木町社会教育推進状況について (1 0 月～3 月) ・令和 4 年度和木町社会教育推進の実践報告 協議題 ・令和 5 年度社会教育方針について ・令和 5 年度社会教育関係行事について

(5) 社会教育関係会議・研修会等

4月13日	第1回県市町義務教育関係主事等研修会	山口市
4月27日	第1回和木町コミュニティ・スクール委員会	文化会館
5月11日	山口県社会教育委員連絡協議会幹事会	WEB
6月3日	第1回県・市町社会教育主事等研修会	山口市
6月7日	地域連携教育担当者研修会	文化会館
6月20日	第1回和木町社会教育委員会議	文化会館
6月29日	第1回地域連携教育戦略会議	文化会館
8月26日	地域連携教育担当者合同研修会	岩国市
10月3日	第2回社会教委育委員会議	文化会館
10月17日	社会教育の視点を学校教育や教育行政に生かす研修講座	山口市
10月27日 28日	第64回全国社会教育研究大会広島大会 兼 令和4年度中国四国地区社会教育研究大会	広島市
11月10日	やまぐち地域連携教育の集い	柳井市
11月12日	山口県社会教育研究大会	萩市
1月13日	第2回県・市町社会教育主事等研修会	山口市
2月17日	地域連携教育担当者研修会	山口市
2月24日	第3回和木町コミュニティ・スクール委員会	文化会館
3月1日	第2回地域連携教育戦略会議	文化会館
3月20日	第3回和木町社会教育委員会議	文化会館

(6) 家庭教育関係会議・研修会等

5月28日	家庭教育アドバイザー養成①・ステップアップ講座①	山口市
6月9日	第1回家庭教育支援チーム連絡会議	WEB
6月16日	第1回教育支援員等研修会	山口市/WEB
6月25日	家庭教育アドバイザー養成②・ステップアップ講座②	山口市
7月30日	家庭教育アドバイザー養成③	WEB
8月27日	家庭教育アドバイザー養成④・ステップアップ講座③	WEB
10月1日	家庭教育アドバイザー養成⑤	山口市
11月10日	やまぐち地域連携教育の集い（家庭教育アドバイザー養成⑥）	柳井市
11月29日	家庭教育支援員等合同研修会兼第2回家庭教育支援チーム連絡会議	山口市
12月3日	家庭教育アドバイザー養成⑦・ステップアップ講座④	山口市
1月18日	第2回教育支援員等研修会	WEB
3月	第3回家庭教育支援チーム連絡会議	山口市

(7) 和木町子ども会育成連絡協議会

① 執行部役員名簿

役 職	氏 名
会長	坂田 直美
副会長	中野さつき
書記	大野百合子
書記	笹木嘉代子
書記	満井 智子
書記	中川 祐子

前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で、学校をはじめ多くの活動に制限が出ている。

そのような中で多くの児童や保護者が集まる活動を控えるべきとの判断で、活動を自粛した。

今後については、状況を見つつ可能な範囲で活動を実施していきたい。

(8) 和木町婦人会

① 執行部役員名簿

役職	氏名
会長	藤本 亮恵
副会長	井口美智子
書記	三原喜久江
書記	藤重由美子
会計	藤田 栄子
監査	灰岡 裕美
監査	樋渡ひとみ

② 取組

毎月	支部長会議	福祉会館
4～12月	クリーンアップ活動	各支部
4月	町婦人会総会	書面決議
4月22日	山口県連合婦人会総会	カリエンテ山口
5月	日赤募金・赤十字奉仕団活動	町内各地
9～12月	高齢者交通安全世帯訪問	町内各地
10～12月	共同募金、歳末助け合い運動	町内各地
11月14日	高齢者交通事故防止に向けたメッセージ伝達式	役場
11月15日	趣味の会	福祉会館
11月16日	地域婦人会リーダー相互研修会	山口県総合保健会館
12月16日	街頭募金	和木駅

(9) 学校施設開放事業

学校施設の利用状況（スポーツ少年団を除く）

【和木中学校グラウンド】

クラブ名	種目	曜日	時間帯
中組自治会 (4月～10月)	グラウンドゴルフ	水	19:30～21:00
ライトニング	ソフトボール	金	19:00～21:00

【和木小学校体育館】

ホーネット	ビーチボールバレー	木	19:30～21:30
カルテット	ビーチボールバレー	金	19:30～21:30
体育協会剣道部	剣道	火・金	19:30～20:30

【和木中学校体育館】

ウイングス和木	バレーボール	月	19:30～21:30
三井化学バスケット部	バスケットボール	月	18:30～21:30
リアルバスケットボールクラブ	バスケットボール	火	19:00～21:00
N's GARAGE	バスケットボール	水・土	18:30～21:30
チーム1/3	ビーチボールバレー	木	19:30～21:30
わがままクラブ	バレーボール	金	19:30～21:30
岩国FIDバスケット	バスケットボール	金	19:30～21:30
HAAT	ビーチボールバレー	土	19:30～21:30

(10) 町ぐるみ「和木学園」構想

4月16日	和木学園歴史教室	町内各地
4月24日	和木学園講座（和木学農園①）	感時園
5月9日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
5月15日	和木学園講座（和木学農園②）	感時園
5月23日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
5月28日	蜂ヶ峯総合公園バラ講習会（都市建設課主催）	蜂ヶ峯総合公園バラ園
5月29日	蜂ヶ峯総合公園バラ講習会（都市建設課主催）	蜂ヶ峯総合公園バラ園
6月5日	ふらわーあれんじめんと教室（都市建設課主催）	蜂ヶ峯総合公園キャンプ場休憩棟
6月11日	蜂ヶ峯総合公園バラ講習会（都市建設課主催）	蜂ヶ峯総合公園バラ園
6月12日	蜂ヶ峯総合公園バラ講習会（都市建設課主催）	蜂ヶ峯総合公園バラ園
6月13日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
6月20日	和木学園講座（和木学農園③）	感時園
6月27日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
7月11日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
7月24日	和木学園講座（和木学農園④）	感時園
8月6日	第1回タイピング大会	コミュニティセンター
8月21日	和木学園講座（和木学農園⑤）	感時園
9月11日	和木学園講座（和木学農園⑥）	感時園
9月12日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
9月18日	ひろみちお兄さんの親子体操教室 ※台風のため中止	蜂ヶ峯総合公園 Bee+
9月23日	蜂ヶ峯総合公園バラ講習会（都市建設課主催）	蜂ヶ峯総合公園バラ園
9月24日	蜂ヶ峯総合公園バラ講習会（都市建設課主催）	蜂ヶ峯総合公園バラ園
9月25日	体力・運動能力向上教室①（都市建設課主催）	体育センター
9月25日	運動・食育セミナー①（都市建設課主催）	美術館
9月25日	ウェルネスキャンプ①（都市建設課主催）	体育センター
9月26日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
10月16日	体力・運動能力向上教室②（都市建設課主催）	体育センター
10月16日	ウェルネスキャンプ②（都市建設課主催）	体育センター
10月24日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
10月30日	和木学園講座（和木学農園⑦）	感時園
11月14日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
11月20日	和木学園講座（和木学農園⑧）	感時園
11月27日	体力・運動能力向上教室③（都市建設課主催）	体育センター
11月27日	ウェルネスキャンプ③（都市建設課主催）	体育センター
11月27日	運動・食育セミナー②（都市建設課主催）	美術館
11月28日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
12月12日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
12月18日	和木学園講座（和木学農園⑨）	感時園
12月18日	体力・運動能力向上教室④（都市建設課主催）	体育センター
12月18日	ウェルネスキャンプ④（都市建設課主催）	体育センター
12月27日	コンビ学習（ふしぎ探検隊）	小学校理科室
1月7日	日米交流書き初め会（企画総務課連携）	小学校屋内運動場
1月23日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
1月28日	蜂ヶ峯総合公園バラ講習会（都市建設課主催）	蜂ヶ峯総合公園バラ園
1月29日	蜂ヶ峯総合公園バラ講習会（都市建設課主催）	蜂ヶ峯総合公園バラ園
2月13日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
2月25日	第2回タイピング大会	コミュニティセンター
2月27日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター
3月13日	コミセン英会話教室（コミュニティセンター主催）	コミュニティセンター



【「歴史教室」の様子】



【「和木学農園」の様子】

(11) 成果と課題

近年、和木町の社会教育団体の自主的な活動・運営は定着してきており、今年度もスポーツ、文化サークル等で積極的な活動が目立った。しかしながら、コロナ禍において大きな行事については消極的にならなければいけない部分もあった。

3年連続で実施できていないが、「すくすくフェスタ」や「福祉まつり」、「わき愛あい フェスティバル」等のイベントで様々な団体が連携し、町が一つになろうとするのは本町の素晴らしい点である。来年度、実施できるような状況になれば、より多くの人に関わる中でつながりの再構築をしていく必要が出てくると考えられる。そのために多くのエネルギーを使うか思われるが、和木町のよさを取り戻していきたいと考える。また、子ども会育成連絡協議会については、今後も新たな体制作りや継続可能な形の模索をしていく必要がある。

「和木学農園」は自主的に運営する中で多世代交流ができており、講座として成熟してきたと言える。町ぐるみ「和木学園」構想では、「みんなが生徒 みんなが先生」ということで、今後は事務局主導のものだけではなく、より地域住民のアイディアによるバラエティ豊かな活動や講座が増えていく方向に近づけたいと考えている。

団体で分けると多岐に渡るように見えるが「思いは一つ」のもと、和木町ならではの連携のしやすさを生かしていきたい。

2 青少年教育

(1) 青少年問題協議会委員

青少年の健全育成をめざす上で、本町のリーダーシップをとる立場にあるのが、町青少年問題協議会である。

町内のコンビニエンスストアの利用状況等から「目立った問題行動」は見られないが、昨今の若者における SNS 上のトラブル、利用状況は気になるところである。GIGA スクール構想によりタブレット端末が児童・生徒に 1 人 1 台配備されている現在、この題材で研修の機会を持つ必要があると考えている。

役 職	氏 名	所 属(役職)
会長	米本 正明	和木町長
副会長	重岡 良典	教育委員会 教育長
委員	佐伯 公夫	和木こども園 園長
委員	折出美保子	和木小学校 校長
委員	亀谷 秀雄	和木中学校 校長
委員	坂田 直美	和木町子ども会育成連絡協議会 会長
委員	藤本 亮恵	和木町婦人会 会長
委員	小林 直樹	和木こども園 P T A 会長
委員	藤田 大輔	和木小学校 P T A 会長
委員	吉川 健治	和木中学校 P T A 会長
委員	山瀧 芳久	和木町体育協会 会長
委員	龍永 亮彦	和木町老人クラブ連合会 瀬田喜楽会会長
委員	竹本 講治	和木町民生委員児童委員協議会 会長
委員	上岡富士夫	和木町議会総務文教委員会 委員長
委員	太田 俊裕	和木町教育委員会 教育長職務代理者
委員	鬼武計次郎	和木駐在所 所長
委員	得能 尚子	主任児童委員
委員	崎本みどり	主任児童委員

(2) 青少年問題協議会・研修会

青少年問題 協議会・研修会	1 1 月 3 0 日 文化会館	協議会 「青少年問題の現状と地域ができること」 ・小中学校の現状 ・わきスクールガード、防犯パトロールの取組 ・和木駐在所より青少年の現状 研修会は新型コロナウイルス感染予防のため中止
------------------	---------------------	---

(3) 青少年関係会議・研修会等

5 月 2 0 日	山口県青少年育成県民会議	山口市
7 月 5 日	子ども環境クリーンアップ立ち入り調査	町内
1 月 1 1 日	子ども環境クリーンアップ活動	町内

(4) 放課後子ども教室（わきあいキッズ）

放課後や週末等に体育センターや小学校のグラウンド等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の機会を提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的に実施している。

一昨年度には活動が評価され「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受けた。今後もよりよい活動をめざしていきたいと考えている。

日 付	活 動	場 所	人数
5月11日	昔あそび1	体育センター	34
5月18日	昔あそび2	体育センター	38
5月24日	スポーツサッカー1	小学校グラウンド	4
5月25日	昔あそび3	体育センター	39
5月27日	スポーツソフト1	小学校グラウンド	1
6月1日	昔あそび4	体育センター	39
6月7日	スポーツサッカー2	小学校グラウンド	7
6月8日	昔あそび5	体育センター	42
6月9日	スポーツバレー1	体育センター	2
6月13日	スポーツ野球1	小学校グラウンド	3
6月15日	昔あそび6	体育センター	42
6月16日	スポーツバレー2	体育センター	3
6月18日	スポーツミニバス1	小学校体育館	4
6月22日	昔あそび7	体育センター	40
6月23日	スポーツ野球2	小学校グラウンド	4
6月24日	スポーツ剣道1	小学校体育館	2
6月25日	スポーツミニバス2	小学校体育館	5
6月29日	昔あそび8	体育センター	42
7月1日	スポーツ剣道2	小学校体育館	2
7月3日	陶芸教室	やきもの工房	1
7月6日	昔あそび9	体育センター	40
7月13日	昔あそび10	体育センター	32
7月28日	自然観察（海）	通津美が浦公園	19
8月2日	スポーツ弓道1	蜂ヶ峯弓道場	16

日 付	活 動	場 所	人数
8月4日	スポーツ弓道2	蜂ヶ峯弓道場	17
9月7日	昔あそび11	体育センター	36
9月14日	昔あそび12	体育センター	41
9月21日	昔あそび13	体育センター	41
9月28日	昔あそび14	体育センター	27
10月5日	昔あそび15	体育センター	31
10月8日	歴史教室	町内各地	1
10月12日	昔あそび16	体育センター	26
10月15日	自然観察（森）	宮島大元公園	13
10月19日	昔あそび17	体育センター	38
10月26日	昔あそび18	体育センター	28
11月2日	昔あそび19	体育センター	35
11月9日	昔あそび20	体育センター	29
11月16日	昔あそび21	体育センター	40
11月30日	昔あそび22	体育センター	38
12月7日	昔あそび23	体育センター	33
12月14日	昔あそび24	体育センター	18
1月11日	昔あそび25	体育センター	36
1月18日	昔あそび26	体育センター	28
1月25日	昔あそび27	体育センター	24
2月1日	昔あそび28	体育センター	35
2月8日	昔あそび29	体育センター	34
2月15日	昔あそび30	体育センター	36



「昔あそび」の様子
体育センターにて



「弓道」の様子
蜂ヶ峯弓道場にて

(5) あいさつ運動作品

あいさつ運動啓発作品審査結果(標語の部)

<小学生の部>

最優秀	あいさつで えがおかがやく 和木の町	小3	高野	旭さん
優秀	あいさつで 小さな町も NO. 1	小6	本田	希実さん
入選	マスク生活続いても 表情豊かなあいさつで みんなの気持ちを和やかに	小5	河口	聖弥さん
入選	あいさつは みんなの笑顔の 第一歩	小5	香川	心愛さん

<中学生・一般の部>

最優秀	あいさつは 地域の絆 つなぐ鍵	中3	本田	愛実さん
優秀	あいさつで みんなえがおの まちづくり	中1	柳川	深愛さん
入選	あいさつで 心の雨も 晴れてにじ	中2	玉野	愛紗さん
入選	あいさつで みんなハッピー 和木の町	中1	森本	優歌さん

あいさつ運動啓発作品審査結果(ポスターの部)

<小学生の部>

最優秀



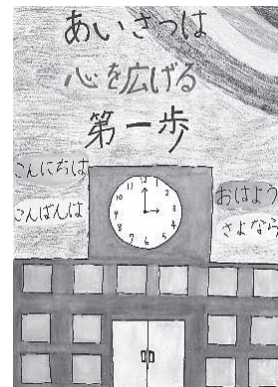
小4 國弘 花南さん

優秀



小6 重松 詩さん

入選



小6 満井 沙姫さん

<中学生の部>

最優秀



中2 竹内美仁依さん

優秀



中3 村上 乃彩さん

入選



中2 佐藤 雅さん

入選



中1 森本 優歌さん

(6) 四境太鼓

① 役員名簿

役職	氏名
代表	中野さつき
会計	平川 紀江

② 取組

11月3日	和木町芸能祭	文化会館
-------	--------	------

(7) 二十歳のつどい

日時 令和5年1月8日(日) 10:30 受付開始

会場 和木町文化会館

内容 11:00～11:30 二十歳のつどい式典

国家斉唱

主催者挨拶 和木町教育委員会教育長 重岡 良典

記念品贈呈 和木町教育委員会教育長 重岡 良典

代表者 吉田 龍星 さん

お祝いの言葉 和木町長 米本 正明 様

お礼の言葉 代表者 松本 誠也 さん

町民憲章唱和 代表者 竹内 舜貴 さん

11:30～11:40 スライドショー上映

11:40～12:00 記念写真撮影

12:00～12:50 アトラクション

対象者 現在和木町に在籍しており、平成14年4月2日から平成15年4月1日の間に生まれた者

平成26年度和木小学校、平成29年度和木中学校を卒業した者

(8) 成果と課題

放課後子ども教室については、コーディネーターを中心に、自主的な運営がなされており、「子どもの居場所づくり」と「豊かな体験を」を提供する中、活発に活動することができている。新型コロナウイルスに影響を受けながらも、毎週水曜日の「昔あそび」をはじめ、多くの方の協力をいただきながら、児童が様々な活動に参加することができた。和木学園の取組の中では好事例の一つだが、指導者・教育活動サポーターの高齢化という課題を抱える。今年度、新しいサポーターが2人加わったものの全員で6名のため、これか

らのことを考えるとまだまだ人数が必要だと考えている。新しい講座の開設の可能性も絡めながら、今後もつながりの中で人材確保に務めていきたい。

あいさつ運動については幅広い周知を目的として、標語・ポスターの募集、のぼりやポスターの作成、掲示といったことを今年も行った。さらに民生委員児童委員の方々のあいさつ運動の日となる毎月第1月曜日をあいさつチャレンジャーと名付け、活動を開始した。定着には時間がかかると思われるが、和木町のあいさつを支える活動として根付かせていきたい。さらに、園小中においてもそれぞれ継続した取組が行われており、「人間関係の基礎基本」、「表現力・コミュニケーション力の第一歩」としてこれからも力を入れていきたいと考えている。

今後も、さまざまな体験・交流活動を通じて、青少年の健全育成に取り組んでいきたい。

3 人権教育

(1) 人権施策推進協議会委員

役 職	氏 名	所 属（役職）
会長	米本 正明	和木町長
副会長	重岡 良典	教育委員会 教育長
評議員	上岡富士夫	和木町議会総務文教委員会 委員長
評議員	太田 俊裕	和木町教育委員会 教育長職務代理者
評議員	松本 康夫	和木町文化協会 会長
評議員	佐伯 公夫	和木こども園 園長
評議員	折出美保子	和木小学校 校長
評議員	亀谷 秀雄	和木中学校 校長
評議員	山本 和彦	人権擁護委員
評議員	村上 邦明	人権擁護委員
評議員	竹本 講治	和木町民生委員児童委員協議会 会長
評議員	村本 久雄	和木町自治連合会 会長
評議員	津島 宏保	和木町商工会 会長
評議員	湯浅 正行	和木町社会福祉協議会 会長
評議員	坂田 直美	和木町子ども会育成連絡協議会 会長
評議員	藤本 亮恵	和木町婦人会 会長
評議員	畑中 克之	ENEOS 株式会社麻里布製油所
評議員	渡邊 良平	和木町企画総務課 課長
評議員	森本 康正	教育委員会 事務局長

(2) 人権施策推進協議会・研修会等

和木町人権施策 推進協議会・研修会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
和木町人権のつどい	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 人権関係会議・研修会等

4月20日	市町人権教育主管課長及び担当者合同会議	山口市
6月9日	学校・地域人権教育推進指導者研修会	山口市
7月13日	社会教育指導者のための人権教育研修講座	山口市
9月17日	学校・地域人権教育推進指導者研修会	WEB
10月13日	人権教育研修会	WEB
2月14日	市町人権教育担当者協議会	山口市

(4) 成果と課題

人権教育に関しては、研修会や人権のつどい等において、保健福祉課との連携を図りながら運営を行っている。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から思うように活動できなかった。しかし、人権擁護委員を講師に招いての人権教室の様子や中学生の書いた作文を通じて、子どもたちの思いや心の成長を伺うことができた。また、人権に特化した研修会等を開催できなかったため、社会教育活動の中に、「人権のエッセンス」を盛り込むよう意識して活動を行った。これからも全ての活動の中で「人間尊重」の精神を大切にしていきたい。

4 文化財

(1) 文化財保護審議会

① 文化財保護審議委員（任期：令和4年～）2年間

氏名	委員歴	備考
正中 克磨	平成14年度～	会長
米本 育美	平成25年度～	副会長
嶋谷 保則	平成30年度～	
竹本 知行	令和2年度～	

② 第1回審議会

ア 日 時 令和4年6月10日

イ 場 所 文化会館談話室

ウ 内 容

令和3年度の事業と令和4年度の計画について

歴史資料館について

③ 第2回審議会

ア 日 時 令和4年12月27日

イ 場 所 文化会館談話室

ウ 内 容

令和4年度の事業と令和5年度の計画について
歴史資料館について

(2) 町史・歴史関係の書物等

- ① 「ふるさと歴史の散歩」 平成8年12月発行
- ② 「ふるさと逍遥」 平成14年12月発行
- ③ 「和木町史」 平成15年10月発行
- ④ 「和木町所蔵文書目録」 平成24年3月発行 希望者に配布中

平成21年度から行った古文書整理事業の報告書である。町指定文化財の「嘉屋文書」及び明治前半の行政文書を解説し、戸籍や移民などの項目別に分類して列記している。

200冊作成し、県内の図書館や町長、教育長などの関係者に配布した。和木町の古文書の存在を知っていただくことが目的である。

希望者には配布し、古文書の閲覧を希望される場合は、職員立ち会いのもとで閲覧を認めることとしている。配布して間もなく、吉川史料館から閲覧希望が寄せられた。なお、嘉屋文書については平成28年度に、歴史教室等の際に岩国徴古館から借用していた和木村大竹村御境絵図は平成30年度にデジタル化済み。

- ⑤ DVD「私たちの町で戦いがあった」平成13年作成（平成25年DVD化）

「和木町歴史探訪 産業編」平成25年作成

和木町文化会館及び蜂ヶ峯公園管理棟にて販売中（1枚500円）



(3) 町内の指定文化財

① 県指定文化財

瀬田八幡宮本殿	(有形文化財)	和木町瀬田	【平成 5 年町指・平成 10 年県指】
---------	---------	-------	----------------------

② 町指定文化財

釈迦如来座像	(有形文化財)	和木町和木	【平成 5 年指定】
迦葉尊者立像	(有形文化財)	和木町和木	【平成 5 年指定】
阿難尊者立像	(有形文化財)	和木町和木	【平成 5 年指定】
扁額「大瀧山」	(有形文化財)	和木町和木	【平成 7 年指定】
疫神社の祭礼	(民俗文化財)	和木町関ヶ浜	【平成 11 年指定】
妙見神社の檜	(天然記念物)	和木町関ヶ浜	【平成 11 年指定】
嘉屋文書	(有形文化財)	和木町和木	【平成 14 年指定】

(4) 成果と課題

四境戦争・明治維新に関連する各種事業やテレビ番組などの効果も薄れてきており、町内の史跡や施設についての問い合わせや町外からの来訪者も減少している。

また、町内の史跡や施設について、老朽化等の問題もあり、大幅な見直しを含めた検討が必要である。

2 文 化 会 館

1 運営方針

町民が求めている文化活動の内容が多様化する中で、町長部局や学校、さらには文化協会や体育協会等の社会教育団体との連携が、ますます重要となっている。その中で、和木町文化協会は30周年を迎え、各種記念事業が開催された。また、令和5年度は和木町が町制施行50周年を迎えることから、50周年記念にふさわしい事業を実施していく1年としたい。

自主事業である、子ども向けのステージイベントは、令和2年度は中止、令和3年度は可能な限り開催できる方向を探ったが、全国的な緊急事態宣言や蔓延防止などで結局は開催できなかった。令和4年度は感染症対策（手指消毒の徹底、座席の間隔を空ける、午前・午後の2部構成として1公演あたりの入場者数を減らす）を行ったうえで、3年ぶりに開催した。

また、館内各施設の老朽化は顕著であり、空調設備や舞台設備を中心に小規模な故障が発生している。部品生産終了による修理不能箇所が見受けられる。緊急度の高い場所から順次工事を実施し、利用者にとって安全安心な施設の維持を心掛ける。

2 事業の概要

(1) 子ども向けステージイベント

- ① 日 時 8月22日(月)
午前の部 10時00分～11時40分
午後の部 13時30分～15時10分
- ② テーマ おんぷらんと&エデュパーク
- ③ 内 容 大道芸&サイエンスマジックショー
- ④ 来場者数 午前の部 180人
午後の部 130人
- ⑤ 特記事項 コロナ感染症対策として、定員の半分、
座席指定制の整理券方式とした。

3密を避けることと、座席定員減少を補い、より多くの方に来ていただく機会を設けることを目的に、午前と午後の2部制にした。

- ⑥ 実施報告 近隣6社のイベント業者から企画の提案を受け、コンペを開催し、実施内容を決定した。

「おんぷらんと」の大道芸では、ボールを使った大道芸や乗り物に乗ったうえでのジャグリング、トランプマジックなどを披露した。



「エデュパーク」のサイエンスマジックショーでは、ボールや風船の浮力実験、液体窒素とお湯を混ぜて雲を作る実験などとクイズを織り交ぜ、来場者参加型の内容として、科学に興味関心を持ってもらおうという工夫を感じることができた。

司会者ぼむ・ぱるれさんのリズミカルかつ期待を持たす司会進行と、次から次へと繰り上げられるショーに対し来場者から惜しめない拍手が寄せられた。



(2) 貸館事業

① 統括

新型コロナウイルス感染拡大により 1 月 9 日から 2 月 20 日まで臨時休館した。2 月 21 日の利用再開後も 4 月中旬まで利用者数と利用団体数は伸び悩んだ。

一方で、令和 2 年 2 月から新型コロナウイルス感染拡大し始めた当初は、活動や発表会を中止していた団体が多かったが、現在では感染拡大防止対策をしたうえで、身内だけの少人数での発表会や撮影会に切り替える団体もあり、WEB 会議での使用も多数あったことから、令和 4 年 5 月以降は利用者数と利用団体数が持ち直しつつある。

先述の子ども向けステージイベントのほか、和木町文化協会創立 30 周年記念として、6 月 25 日の宝くじ文化公演～オペラ「カルメン」がほぼ満員で開催され、11 月 20 日の「GirlsNagon&おんがくこうじょう。」が盛況であったこと、8 月 10 日から 17 日までホワイエ(ロビー)で、プレミアム付き商品券の販売が行われ、8 月 18 日と 19 日は中国五県町村教育長研究大会が開催されたことも大きい。

② 各部屋の状況

ホールは、毎週の四境太鼓の練習に加え、教育委員会や役場各課、文化協会、従来からの音楽教室、ピアノ教室の発表会、ダンスや演劇の練習や発表会に利用されている。発表会が一つあるかないかで全体の利用者数に影響してくる。

講習室は、防音施設が整備されており、会議だけでなく、音楽団体の利用やダンスグループの練習会場としても利用されて、発表会やイベントの控室としての利用も高頻度である。なお、令和3年度まで高頻度で利用していた一部団体が使用しなくなったことで、利用団体数は昨年比べて減少している。

また、商工指導室は、商工会や一般団体の会議を中心に使用いただいている。使用料が他の部屋の半額であることから、使用率が高い傾向にある。なお、例年は2月から3月にかけて商工会が確定申告相談で複数回使用しているが、臨時休館の影響で使用がなくなったため、利用者団体数と利用者数の双方が減少している。

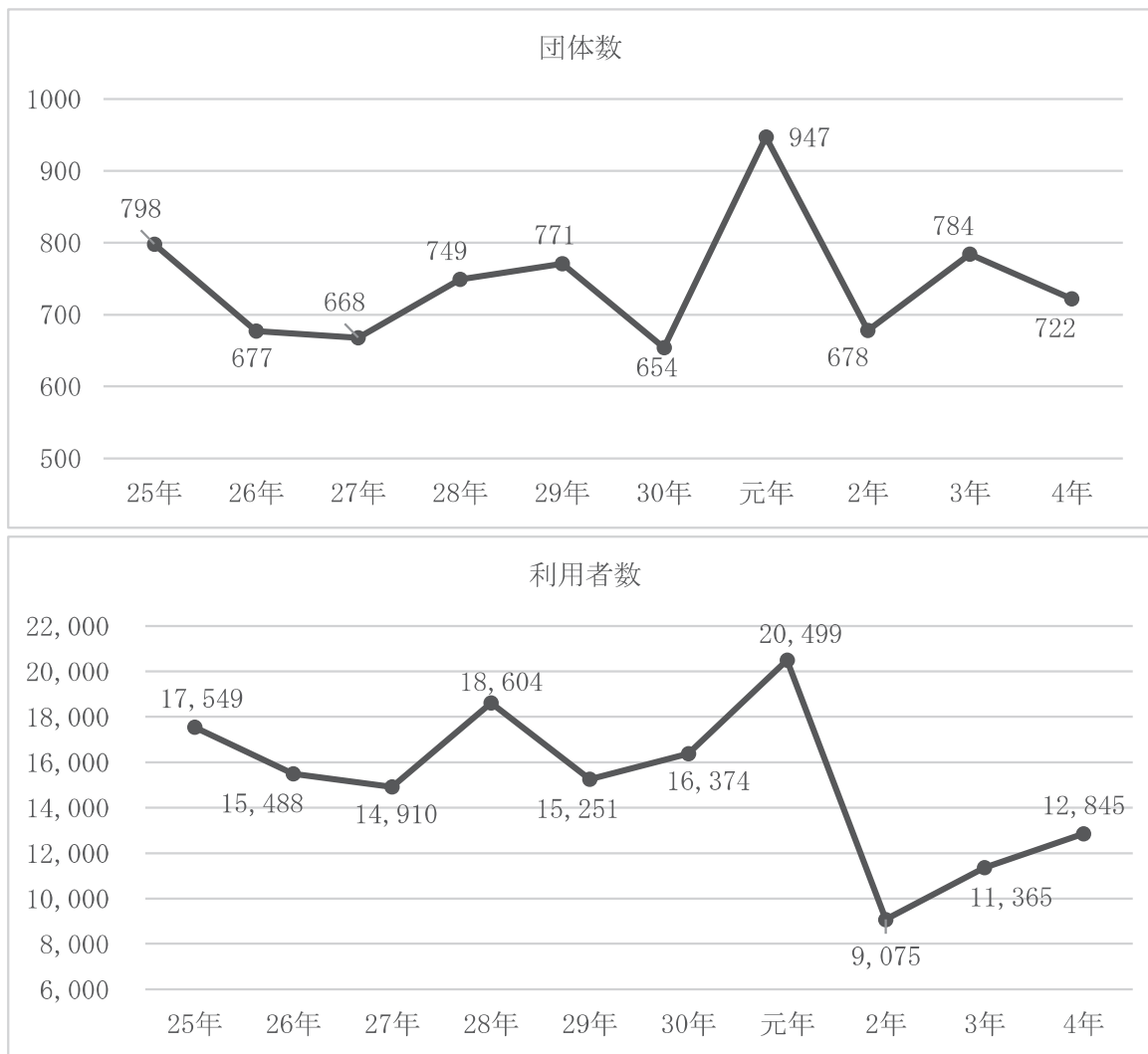
一方で、集会室や研修室、視聴覚室の利用は長年低迷している。さらにコロナ禍により、従来使用していた団体の利用頻度が減少したことや、発表会や講演会が完全に復活していないことも原因である。

3 文化会館事業入館者等実績

(1) これまでの子ども向けステージイベント一覧

開催年	名称	来館者数
平成 22 年	シャボン玉ショー	280 人
平成 23 年	アンディ先生のマジックショー&マジック教室	350 人
平成 24 年	コブリナサーカス	600 人
平成 25 年	おじゃるず	300 人
平成 26 年	R O N E & G i g i	420 人
平成 27 年	※からくりドール（台風のため中止）	中止
平成 28 年	からくりドール	380 人
平成 29 年	ミラクルイリュージョン	380 人
平成 30 年	キャラメルマシーンのサイエンスマジックショー	420 人
令和元年	影絵劇「三枚のお札」	350 人
令和 2 年	※開催時期延期のうでで実施中止	中止
令和 3 年	※内容を仮決定したが中止	中止
令和 4 年	おんぷらんと & 出張エデュパーク	午前 180 人 午後 130 人

(2) 近年の利用団及び利用者数の推移



4 修繕・工事について

平成4年度の開館から30年が経過し、施設各所の老朽化が顕著である。特に空調設備や舞台設備、消防設備の故障が多々発生しており、異常が発生した場合はすみやかに修繕(50万円未満)や工事(50万円以上)を実施している。

しかしながら、経年劣化で故障する機器が多いが、部品の製造中止になった機器も多くあり、根本的な取替工事が必要な時期に来ているが、町の財政状況から工事費確保に苦慮している。

今後の工事は適宜優先順位を決め、計画的な工事や修繕を行い、利用者の快適な施設使用、安全安心を確保していく。

今年度の特記すべき工事と設計業務は、下記のとおりである。

(1) 和木町文化会館 空調中央監視装置更新工事(工事) 契約額 20,790,000 円

- ① 内容 1 階事務室にある中央管制盤及び 3 階機械室の制御盤の中にある機器が老朽化し、故障のリスクが高くなっているが、取替部品がないため、中央監視装置そのものを取り替え、安定した会館運営につなげる。

4 日間、ホールや講習室などの空調が使用できなくなる。行事のない日に工事を実施する。

- ② 工期 令和 5 年 3 月 31 日まで

(2) 和木町文化会館 照明設備改修工事(工事) 契約額 52,800,000 円

- ① 内容 舞台照明器具と調光操作卓の取替工事である。

舞台上の照明器具は白熱電球を使用しているが、既に製造中止にしているメーカーが多数あるため、一部照明器具を LED 化し、付属機器やケーブルも更新する。

また、調光操作卓は補修部品等の製造が終了し、保守サポートも終了しているため、調光操作卓本体と付属機器の取替を行う。

2 月から 3 月まで約 2 か月ホールやステージが使用不能となり、一部の日時は文化会館駐車場の半分が使用できなくなる。

- ② 期間 令和 5 年 3 月 31 日まで

(3) 和木町文化会館 空調設備端末制御装置等更新工事設計業務(業務) 契約額 2,574,000 円

- ① 内容 空調設備の各種機器は、近年不具合が多発している。当業務では、3 階機械室を中心に取替える必要がある場所や部品を選定し、5 年度以降に実施の際の工事費の設計や工事仕様書作成を行っている。

- ② 期間 令和 5 年 2 月 28 日まで

10 万円以上の工事や修繕、工事設計（令和 4 年 1 月以降に実施したもの・契約順）

工事名	契約会社	契約金額
排煙オペレーター装置修理	(株)松重設計	154,000 円
文化会館発電施設塗装工事	(株)和木商事	616,000 円
非常用蓄電池取替工事	(有)扶双	541,200 円
空調設備端末制御装置等更新工事設計業務	(株)藤沢設計	2,574,000 円
空調中央監視装置更新工事	(株)きんでん	20,790,000 円
照明設備改修工事	(株)きんでん	52,800,000 円
舞台照明設備修繕工事	(株)松村電機製作所 広島営業所	270,600 円

5 成果と課題

文化会館は、町民の教養の向上と生活文化の振興を図るための施設として設置されている。発表会や会議、研修、趣味の活動場所として活用されており、町民の生涯学習の重要な施設として活用されている。これらの活動を十分に支援していくために、利用者のニーズに応えた施設運営を行っていく必要がある。

しかしながら、利用団体が高齢化や人数減少で、利用・活動を縮小や停止することがあり、コロナ禍でさらに顕著となっていることが課題である。これは文化会館だけでなく、町内各施設共通や全国的な課題であり、残念ながら解決策は見つかっていない。

コロナウイルスによる臨時休館や利用制限については、利用者に対して状況が変化するごとに丁寧に説明しており、納付済みの使用料を特例的に返金、使用日を後日に振替するなど、引き続き柔軟な対応をしたことから、大きな苦情はなかった。

しかし、平成25年～令和元年までのコロナ前に比べて利用者数は75.8%、団体数は96.0%、使用料収入は77.0%程度となった。団体数に対し利用者数の減少が著しいのは、ホール客席の定員を半分に制限することを継続したことや主催者側が来館対象者を限定したこと、少人数のWEB会議・研修が57回あったことが理由である。

令和5年度は、和木町が町制50周年を迎える。キャッチフレーズ「笑顔つなぐ つなげる、和木のこころ・未来。」となっており、令和5年11月11日の式典を中心に、記念事業や式典が町内各所で多々行われる予定である。多くのイベントを行い、キャッチフレーズにふさわしい1年間とし、これらのノウハウを今後につなげていきたい。



3 総合コミュニティセンター

1 運営方針

- (1) 生涯学習の支援はもとより、住民サービスの提供、災害時の避難所、さらにまちづくりの拠点としての役割を担う。
- (2) 時代背景や社会構造、住民の意識の変化を敏感にとらえ、地域住民の活性化や健康増進、住んでいて良かったと思えるまちづくりを目指す。
- (3) 青少年を導く立場にある地域の大人たちを対象にした社会教育や生涯学習への取組を重視する。
- (4) あらゆる年代階層の住民の方に、充実した魅力ある学習機会を提供することで、人々の連帯感や公共意識・道徳観・倫理観の育成につなげていく。
- (5) 公民館瀬田分館及び公民館関ヶ浜分館の個人利用の促進を図る。



2 本年度の努力点と反省点

(1) 生涯学習の情報拠点としての体制づくり

和木町のホームページの更新を機に、コミュニティセンターの情報を初めて利用する方にも、どんな部屋があり、広さ、料金などが一目で分かるように掲載方法の変更を行った。

今後は公民館認定講座・自主活動団体や和木大学などの情報も盛り込んで、サービスの周知を図っていく。

(2) 公民館認定講座について

公民館認定講座は、講座と同等の活動を行っている団体を公民館活動団体と認定して、講座と同等の扱いとすることとしたもので、令和4年4月1日現在は39団体ある。認定の基準は、団体の人数が概ね5名以上であり、町民の割合が高く、講師謝礼が低廉であることとしている。

高齢化や会員減少などが、多くの団体に共通した課題である。和木学園構想の一環で、いかに60代の方を中心に、周知・勧誘するかが重要になってくる。平成24年度頃に広報誌で講座の紹介を行ったことがあり、今後は和木チャンネルを使った紹介も考えている。

(3) 総合的な学習の機会、発表の場の提供

文化協会や独自の公民館活動を通じ、学校や地域との交流や連携を深めている。コロナ禍のため「キッズ芸能祭」の代替事業として、昨年に引き続き、高校生以下のすべての子どもを対象とした「第2回キッズ・フォトコンテスト」を開催した。

(4) 情報社会に対応した、学習体制の強化と質的充実

高齢者の間でもパソコン・スマートフォンは必需品になりつつある。公民館認定団体にはパソコン教室が2団体ある。平成30年度にフリーWi-Fiが整備され、パソコン教室でもインターネットが利用可能となり、教室の活性化に貢献することができた。

(5) 文化協会の役割

文化協会内各団体の活動は全体的に縮小する傾向にあったが、令和元年度以降、再び活性化してきている。特に新規加入や代表者が変更になった団体がイベントを新たに開催する傾向にあり、それらのイベントが末永く活動できるよう引き続き支援していく。

文化協会主催イベントの企画や運営は、10名の役員及び事務局でおこなっている。今年もコロナ禍のため開催できなかった行事も一部あったが、来館者数を制限することや受付で検温や消毒、住所や氏名の記入をお願いするなど、感染拡大防止措置をしたうえでイベントを工夫している。

感染拡大が懸念される時期には「キッズ芸能祭」の代替事業として、インターネットを通じて写真を募集する「第2回キッズ・フォトコンテスト」を行った。例年行っている文化祭展示会及び文化祭芸能祭や、WAKI・コンサートを有観客で開催するなど、通常の開催

を行うことが難しい状況下でも活発な事業を、感染症対策を行いつつ展開した。

今後も文化協会は会員による自由な発想による自主企画、活動により文化・芸術活動の啓発を行い、イベントなどの開催や、展示会及び広報活動などに取り組み、町民の総合的な文化意識を高揚する役割を果たしていきたい。

3 今後の課題

住民の学習要求は、近年の高齢化や情報化などで、非常に多様化・高度化してきており、どう対応していくかが今後の課題となっている。従って前述の Wi-Fi の設置などの取組が継続的に求められてくる。また、各年齢層のニーズに応え得る学習機会の提供が充分になされることが求められるのはもちろんのこと、コロナ禍の中で新たな生活様式に対応した体制づくりを確立し、安全と安心を担保する必要がある。

また、永年の課題として、現在の和木町での生涯学習活動の拠点である教育委員会社会教育係とコミュニティセンター、さらには地域振興協会との連携が挙げられる。社会教育係は学校教育との連携（主に放課後や休日の学習活動の提供）、町子連、婦人会、ふるさとづくり団体等を通じ、コミュニティセンターは地域、公民館認定講座、文化協会等を通じ、地域振興協会は町内外での各種イベント開催に携わっている。

それぞれの部署間で事業やニーズなどの情報を共有し、より集客が見込まれ、教育面に有益である効果の高い事業を展開していく必要がある。

4 高齢者学級（和木大学）

高齢者の「楽しく学べる」場を提供している和木大学は、平成2年5月に開校した当初、受講者が非常に多く熱心に受講していたが、学生数及び出席者数が年々減少している。これは、主には高齢化によるもので、転出や死亡により、退学される方が多く、入学される方が僅かであるためや、講座内容のマンネリ化、和木大学の知名度が低いことがあげられる。

対策としては、広報誌やホームページ、ポスターの作成などで定期的に活動報告や学生募集をすること、公民館認定団体や社会福祉団体などに案内を配布すること、在学生に対し、ニーズの把握、開催回数の見直しやそれに伴う内容の充実化を行うことがあげられる。

また、昨今のコロナ禍のもと、開催の是非について非常に熟慮を要する状況となっており、例年とは違う難しい舵取りが求められている。

- ① 対 象 60 歳以上の人あるいはそれ相応の年齢に達したと認められる方
- ② 費 用 入学金や受講料は無料
- ③ 開催回数 年間 5 回程度

④ 学習内容 健康管理、人権教育、歴史・地理・民俗、人生論、政治・経済、社会問題、趣味、レクリエーション

⑤ 学 生 数 令和4年12月末日で49名（前年比 +2名）

⑥ 実施講座

ア 開校式・第1回講義 5月11日（水） 14時00分～ 総合コミュニティセンター

講 義 「Good Health and Well-Being」

すべての人に健康と福祉を

講 師 和木大学 重岡 良典 学長（教育長）

出席者数 12名

概 要 重岡学長による Well-Being（一人ひとりの多様な幸せであるとともに社会全体の幸せ）についての講演

イ 第2回講義 9月29日（木） 14時00分～ 総合コミュニティセンター

講 義 「これからの地域における人権教育」

講 師 和木町教育委員会 社会教育主事 山家 英樹 氏

出席者数 11名

概 要 山家先生によるこれからの地域における人権教育についての講演

ウ 第3回講義 11月4日（金） 13時30分～ 総合コミュニティセンター

講 義 「E Style Body（イー スタイル ボディ）」

身体の中からキレイに強く！骨粗しょう症を予防するために！

講 師 山口県東部ヤクルト販売株式会社

出席者数 13名

概 要 ヤクルトの管理栄養士による骨粗しょう症の予防についての講演

5 団体事業

（1）和木町文化協会

本年度の会員数は、12月28日現在延べ731人で、新たな加入団体もあるが、全体的にみると、減少傾向にある団体が多数を占める状況となっている。

これからも、和木町の文化事業の推進母体である文化協会の安定した運営のために、新会員を確保し、会員数の維持が必要である。和木学園構想の一環で50代・60代の方に関心をもってもらえるよう、日々の活動を通して文化活動の楽しさをアピールし、引き続き会員数の維持につなげていきたいと考えている。

本年度も、文化会館や和木美術館（アートウィング）、コミュニティセンターなどの有効的な活用をめざしつつ、身近な芸術・文化に親しみやすい行事、歴史・伝統を再確認できるイベント実現に向け、コミュニティセンターや教育委員会との連携、協力を得ながら、活動を繰り広げた。主な自主事業としては、次のとおりである。



今後も、限られた予算を有効に使い、運営可能な規模で事業を行っていき、会員相互にストレスなく、持続可能な会の運営を目指していきたい。

① 和木町文化協会総会

日 時 令和4年4月28日（木）18時30分～ 会 場 総合コミュニティセンター
昨年度決算および事業報告、本年度予算および事業計画等、すべて承認された。

役職名	氏 名	役職名	氏 名	役職名	氏 名
会 長	松本 康夫	副会長	中野 さつき	副会長	森脇 由紀
理 事	嘉屋 信明	理 事	崎本 みどり	理 事	米元 恭子
理 事	繁原 節子	理 事	三分一 重厚	理 事	井口 和久
理 事	中川 祐子	監 事	松岡 泉	監 事	片山 真梨
顧 問	海井 朗弘	顧 問	湯浅 正行	顧 問	島崎 こずえ

② 主催事業（令和4年1月～令和4年12月）

ア 第9回和木町絵画美術展

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、和木美術館も臨時休館となったため、絵画美術展も、急遽中止となった。

イ 第2回キッズ・フォトコンテスト

（キッズ芸能祭代替事業）

応募期間 8月1日（月）～31日（水）

展示期間 10月8日（土）～15日（土）

会 場 和木美術館（アートウィング）



《 和木町文化協会 会長賞 》

応募者数 小学生以下の部 68 名
 中学・高校生の部 52 名
 来館者数 147 人
 概 要 子どもたちが撮影した思い出の写真をメールにて募集し、応募作品を
 プリントアウトして額装し、美術館に展示して作品展を実施した。

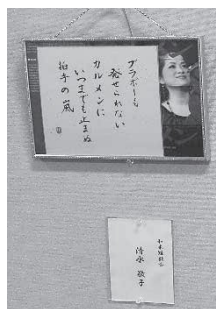
ウ 和木町文化祭 「展示会」

会 期 10 月 26 日(水)～11 月 6 日(日) ※月・火は休館
 会 場 和木美術館 (アートウィング)
 入 館 者 532 人
 参加団体 8 団体、特別出展 5 人
 概 要 文化協会の成果発表の場として 2 週間にわたり、書道やフラワーア
 レンジメント、絵画、短歌、陶芸などの作品を展示した。

団体名	正筆書道会、フラワーアレンジメント講座、明水書道会、 和木短歌会、和木フォトクラブ、子供絵画教室、 橋本 松枝 (フランス刺繍)、和木絵画クラブ
特別出展	三分一 貴司、島崎 こずえ、島崎 陽子、藤川 暁子、宮本 健吾



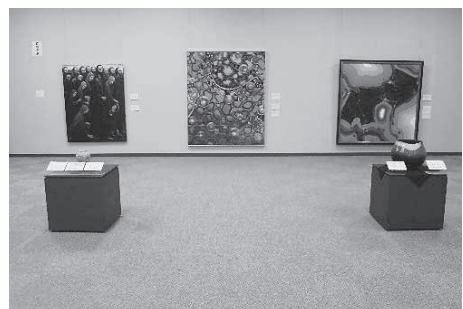
《子供絵画教室》



《和木短歌会》



《フランス刺繍》



《特別出展》

今年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を自粛した団体も
 多く、参加団体数が少なかったため、開催期間を 2 週間(2 グループ)に縮小して展示
 を行った。

エ 和木町文化祭 芸能際

日 時 11 月 3 日(木祝) 12 時 30 分～
 会 場 和木町文化会館
 出 演 者 20 団体、出演者のべ 257 人

概 要 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ、コロナ禍以前の出場団体数とほぼ同じ規模で、合唱や民謡、ダンスなど日頃の練習成果を有観客の会場で行之、久しぶりににぎやかな芸能祭となった。

また、和木町の文化振興に尽くし、協会または加盟団体の育成発展のために永年尽力された方に送られる文化功労賞を、童謡・唱歌を歌う会“赤とんぼ”の杉本光江さんが受賞された。

参加団体名	コーラス「あひる」、ハーモニーC o o、和木社交ダンス同好会、民謡すみれ会 ナメア フラ オ イカラ ‘イ、邦楽 生田流正派 桃の会、手話サークル「虹」 馨風流吟剣詩舞道、ダンスサークル ABEAT クラブ、和木カラオケ同好会、和木ルン ルンクラブ、アロハ マイカイ、T 4、プチママコーラス、フォークダンスの会、 はっち弦楽合奏団、ナニ モハラ、公民館民謡部、四境太鼓、AMM
-------	--



《文化功労賞受賞 杉本光江様》



《コーラス「あひる」》



《フォークダンスの会》

オ WAKI・コンサート'22

日 時 12月10日(土) 18時～

会 場 和木町文化会館

出演者数 9団体、出演者のべ66人

和木町町制50周年記念 プレイベント

出演者 100人

概 要 今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ、有観客での開催とし、吹奏楽や合唱など各団体が練習成果発表を行った。



《大地讃頌を歌う会》



《ハチャトリオ》



《和木中学校吹奏楽部 OB 会》



《フィナーレ》

カ 和木町文化協会創立 30 周年記念イベント

オペラ「カルメン」日本語上演、「Girls Nagon&おんがくこうじょう。」コンサートを開催し、「和木町文化協会創立 30 周年記念誌」を発行した。

ビゼー作曲オペラ「カルメン」

日 時 6 月 25 日（土）13 時 30 分～

会 場 和木町文化会館

来館者数 207 人

「Girls Nagon &おんがくこうじょう。」コンサート

日 時 11 月 20 日（日）13 時 30 分～

会 場 和木町文化会館

来館者数 219 人

「和木町文化協会創立 30 周年記念誌」発行

発 行 日 11 月 3 日（木祝）



キ 第 4 回恵庭市交流都市芸術祭

目 的 和木町と姉妹都市である北海道恵庭市、さらには恵庭市と友好都市の静岡県藤枝市の文化協会所属団体による作品交流を行うことで、伝統や文化に触れて、相互理解と地域文化発展を目指し、今後の各都市との友好と文化交流の絆を強める。

作 品 昨年はコロナウイルス感染拡大防止の観点から、恵庭市文化協会ホームページ上で、各作品を展示したネットギャラリー形式となったが、今年度は作品実物を送付することとなった。書道、絵画、写真、手芸、短歌の団体の代表者や講師に提出作品を相談し、和木絵画クラブ、明水書道会、手編教室、嘉屋信明さんに出品していただくこととした。

③ 文化協会 所属団体による事業

令和4年 文化協会実施事業			
団 体 名	実施日	事 業 名	会 場
和木町カラオケフェスタ	5/15	懐かしのメロディー	文化会館
AMM	6/5	AMM DANCE RECITAL 2022	文化会館
和木絵画クラブ	6/3～6	第22回 絵画作品展	和木美術館
ヒップファミリークラブ和木	6/18, 10/15	親子で参加するワークショップ～7ヵ国語で話そう～	コミュニティセンター
コミセンパソコン教室	8/6	第1回タイピング大会	コミュニティセンター
ダンスサークル ABEAT クラブ	8/28	第11回 Summer Dance Concert 2022	文化会館
中学校吹奏楽部OB会	9/18	2022年ふれ愛コンサート	文化会館
はっち弦楽合奏団	9/25	第6回 はっち弦楽合奏団定期演奏会	文化会館
コミセンパソコン教室	10/29	第8回 地域交流会 ハロウィンパーティー	コミュニティセンター
和木短歌会	10/30	第4回 公開短歌講座	文化会館
文化協会	10/26 ～11/6	和木町文化祭 展示会	和木美術館
文化協会	11/3	和木町文化祭 芸能祭	文化会館
和木カラオケ同好会	11/27	和木カラオケ同好会発表会	文化会館
和木町カラオケフェスタ	12/4	和木カラオケフェスタ大会と発表会	文化会館
コミセンパソコン教室	12/17	クリスマスパーティー	コミュニティセンター

6 公民館講座別利用状況（令和4年1月～12月）

団体名	回 数	延べ人数
子供絵画教室	34	446
子供英語教室	35	196
子供そろばん教室	40	172
合 計	109	814

7 公民館講座（公民館活動認定団体分）別利用状況（令和4年1月～12月）

団体名	回 数	延べ人数	団体名	回 数	延べ人数
和木ルンルンクラブ	38	891	和木パソコン教室	19	106
和木公民館民踊部	36	244	シェイプアップ体操	36	329
和木カラオケ同好会	19	133	リズムストレッチクラブ	38	237
専心小笠原流煎茶	22	122	和木社交ダンス同好会	21	128
フォークダンスの会	31	434	童謡・唱歌を歌う会”赤とんぼ”	17	416
手話サークル「虹」	26	153	日本舞踊（藤間流）	9	17
プチママコーラス	22	135	民謡三絃教室	22	116
ウォーキングエアロ	40	316	和木絵画クラブ	21	111
コーラス「あひる」	37	567	コミセン パソコン教室	40	283
専心池坊和木会	32	141	リラックス体操	37	455
英会話教室	16	114	明水書道会（土曜会）	40	168
明水書道会（水曜会）	39	171	和木町囲碁同好会	35	157
和木ヨガ教室	40	845	ギター弾き語り同好会	17	63
正筆書道会	29	163	和木町将棋愛好会	19	96
ナメア フラ オ イカラ'イ	17	129	手編教室	42	380
和木短歌会	10	61	四境太鼓	33	142
民踊すみれ会	35	182	洋裁同好会	33	306
着付教室 小紋の会	14	71	民踊ひまわり	25	114
ABEAT クラブ	39	536	合 計	1,053	9,090
フラワーアレンジメント講座	7	58			

8 施設別利用状況（令和4年1月～12月）

利用区分	コミュニティセンター		瀬田分館		関ヶ浜分館	
	使用回数	延べ人数	使用回数	延べ人数	使用回数	延べ人数
公民館講座	1,029	8,962	42	380	25	114
短期講座	0	0	0	0	0	0
福祉団体	15	212	97	327	168	1,388
公共団体	137	1,683	67	815	93	1,317
一般（有料）	784	4,597	20	110	0	0
合計	1,965	15,454	226	1,632	286	2,819

※手編教室は瀬田分館で、民踊ひまわりは関ヶ浜分館で、四境太鼓及び洋裁同好会は文化会館で講座を行っているため、6表＋7表と8表の公民館講座の使用回数及び延べ人数とは一致しない。

令和4年度 和木町公民館活動認定団体（公民館講座）案内（総合コミュニティセンター）

No.	種 別	団 体 名	日 時	会費等(予定)	内 容
1	絵画	和木絵画クラブ	第2・3・4 金曜日 9:30～16:00	会費 3,000円/月	絵画全般、初歩から学べます。 公募展にも出品できます。初心者大歓迎。
2	手話	手話サークル「虹」	月曜日(祝休) 19:30～21:00	無料	聴覚障害者の言葉である「手話」 日常会話、手話歌など学びませんか。
3	英会話	英会話教室	第1・3火曜日 19:00～20:30	会費 2,000円/月	講師はアメリカ人です。 初心者の方も歓迎します。（中学生以上）
4	パソコン	和木パソコン教室	第1・3水曜日 14:00～16:00 (祝休)	会費 3,500円/月 教材費 2,000円/年	パソコンの基本操作を中心に、ワード・エクセル・インターネットの利用で作品作りに楽しくチャレンジしましょう。繰り返しゆっくり楽しく学べます。
5		コミセンパソコン教室	金曜日 19:30～20:30 (祝日、1のつく日は休み)	会費 2,000円/月 パソコン貸出料 2,000円 (持ち込み可)	パソコンインストラクターを招いてのスキルアップ教室。 Excel、Word、PowerPointやインターネットを使って できることなど幅広く学んでいきます。 また、ハロウィンやクリスマスパーティーも楽しみ♪
6	書道	明水書道会 水曜会	水曜日(祝休) 9:30～11:30	会費 3,000円/月	実用書から芸術作品まで初歩から学べます。
7		明水書道会 土曜会	土曜日(祝休) 12:00～14:00	会費 3,000円/月	実用書から芸術作品まで初歩から学べます。
8		正筆書道会	第1・2・3 水曜日(祝休) 10:00～12:00	会費 3,000円/月	漢字から仮名、実用の書、ペン習字まで初歩から学べます。
9	健康体操	和木ルンルンクラブ	第1・3月曜日 9:30～12:00	会費 1,500円/月	中火で「トロトロ、ニコニコペース」継続は力なり”をモットーに心と身体の健康作り、楽しい仲間作りをしています。
10	社交ダンス	和木社交ダンス同好会	第2・4木曜日 13:00～15:00 (祝休)	会費 500円/月 (6ヶ月分前納)	社交ダンスを愛し、さらに楽しいダンス仲間の輪が広がる事を願って一緒に踊りませんか。
11	フラダンス	ナメア フラ オイカラ'イ	水曜日(祝休) 13:00～16:00	会費 3,500円/月	ハワイの音楽にいやされながら楽しく踊りましょう。
12	ヨーガ	和木ヨーガ教室	水曜日 10:00～11:30	会費 1,500円/月 (6ヶ月分前納)	静かな時間の流れの中で無理なく、ゆっくり身体と心を整えます。心身がリラックスしストレスから開放されます。
13	ウォーキングエアロ	ウォーキングエアロ	火曜日(祝休) 9:30～11:00	会費 2,500円/月	ウォーキングを基礎とし、いろいろな動きを入れたダンスを取り入れ楽しく脂肪燃焼していきます。ボールや青竹ふみ・ピラティス・ヨガなども織り交ぜ、楽しく続けられる内容です。
14	リラックス体操	リラックス体操	土曜日(祝休) 10:00～11:30	会費 2,000円/月	無理のないエアロビクス運動とストレッチでストレス解消。
15	エアロビクスダンス	シェイプアップ体操	木曜日(祝休) 10:00～11:30	会費 2,000円/月 (6ヶ月分前納)	エアロビクスで心も身体もシェイプアップ。
16	フォークダンス	フォークダンスの会	月曜日(祝休) 10:00～12:00	会費 2,000円/月	昔懐かしい曲、今はやりの曲、世界の曲に乗り楽しく踊っています。笑い声が絶えません。初心者歓迎ふってご参加ください。お待ちしております。
17	合唱	コーラス「あひる」	火曜日(祝休) 11:00～13:00	会費 3,000円/月	声と声が一つに溶け込む合唱の楽しさをあなたといっしょに。初心者大歓迎。

令和4年度 和木町公民館活動認定団体（公民館講座）案内（総合コミュニティセンター）

No.	種 別	団 体 名	日 時	会費等(予定)	内 容
18	合唱	童謡・唱歌を歌う会 ”赤とんぼ”	第1・3木曜日 13:00～16:00	会費 1,000円/月	どなたでもどうぞ。昔懐かしい思い出の童謡・唱歌、心の歌をいっしょに楽しく歌いましょう。（実質の練習時間は13:30～15:30となります。）
19		プチママコーラス	月曜日（祝休） 19:30～21:00	会費 200円/月	”みんなで楽しく♪”をモットーに、気軽にハーモニーを楽しんでいる小さなママさんコーラスグループです。一緒に歌いませんか？
20	カラオケ	和木カラオケ同好会	第2・4月曜日 第2・3金曜日 12:30～16:00	会費 1,000円/月 入会金 2,000円	歌で心を癒しましょう。人生の悲しいこと、つらいこと嬉しいことを歌であらわし明日への糧にしましょう。
21	日本舞踊	日本舞踊 （藤間流）	木曜日 13:00～17:00	会費 6,500円/月	桧舞台へ立てる日を夢見て、幼児（4歳）から年配の方まで学べます。
22	民踊	民踊すみれ会	水曜日（祝休） 14:00～16:00	会費 1,000円/月	婦人の方いっしょにやりませんか、楽しく出来る簡単な民踊です。
23		和木公民館民踊部	第1・3月曜日 12:30～15:30 第2・4月曜日 9:30～12:30 （祝休）	会費 2,000円/月	初心者から上級者まで段階的に学べます。
24	民謡三絃	民謡三絃教室	第1・2・3 木曜日（祝休） 13:00～17:00	無料	初心者から学べます。 三すじの系に民謡をのせて楽しんでみませんか。
25	ギター弾き語り	ギター弾語り同好会	土曜日 14:00～17:00 （月3回程度）	基本的には無料	マイギターをお持ちの方、ご自分で唄ってみたいギターの弾き語りをしてみませんか……。ギター上手の講師も居りますが、貴方が貴方の弾き語りの主役です。
26	茶道	専心小笠原流煎茶	第2・3・4 月曜日（祝休） 14:00～18:00	会費 2,500円/月	丸盆、角盆、茶布敷など色々なお点前があります。楽しく一緒にお稽古しませんか。予備稽古日として土曜日13:30～16:30も行っています。
27	いけばな	専心池坊和木会	火曜日（祝休） 13:00～15:00	会費 2,500円/月 花材費 1,100円/1回	お家にいけばなを飾りませんか。自然の草花や花木で”花あそび”を…。生花や英国風アレンジメントを楽しく素敵にいけましょう。
28	フラワーアレンジメント	フラワーアレンジメント講座	第2水曜日 （祝休） 17:30～19:00	会費 2,000円/1回 （花・花器代込み）	国家検定フラワー装飾1級的美香先生と一緒に、子どもから大人までみんなで楽しくお話ししながら、お花を飾りましょう。初めての方でも男性でも大丈夫。素敵な作品が出来上がります。
29	和裁	和 裁	火曜日（祝休） 9:00～12:00	会費 2,000円/月	基礎知識、基礎技術が学べます。
30	着物着付	着付教室 小紋の会（昼）（夜）	第2・4水曜日 （祝休） 13:30～15:30 19:00～21:00	会費 1,000円/月	普段着より礼装の着付けまで、着付けやコーディネートの勉強をします。
31	囲碁	和木町囲碁同好会	土曜日 13:00～17:00	会費 1,000円/年 新規入会 1,000円	囲碁を通じて会員の親睦を深めています。 年2回 囲碁大会をしています。興味のある方大歓迎。
32	将棋	和木町将棋愛好会	第2・4土曜日 17:00～21:00	出席のつど500円 （むすび3ヶ お茶） 200円（対局のみ）	会員同志での将棋対局（全員アマチュア、同格の実力なので、対局により棋力アップを図る）

令和4年度 和木町公民館活動認定団体（公民館講座）案内（総合コミュニティセンター）

No.	種 別	団 体 名	日 時	会費等(予定)	内 容
33	短歌	和木短歌会	第4水曜日 13:30～15:30	会費 200円/月	生活の中の感動を短歌に詠んでみませんか？お互いの作品を歌評しあって学んでいきます。まずは見学にいらしてください。
34	体操	リズムストレッチクラブ	木曜日（祝休） 10:00～11:30	会費 3,000円/月 保険料1,500円/年	ストレッチ・リズム体操・リズムダンスを行っています。（1回 無料体験できます）
35	ダンス	ダンスサークル A BEATクラブ	水曜日 16:30～17:30 幼児クラス 17:30～19:00 小学校低学年クラス 19:00～20:30 小学校高学年クラス	会費3,000/月	幼児からの入会、大歓迎です。無料体験、随時行っています。和木町内のイベントにも多数参加し、地域とのふれあいも大切にしています。ダンスを通じて、協調性も学べ、楽しい仲間もたくさん出来ますよ。人数や学年によっては、他の曜日でもレッスンしています。

令和4年度 和木町公民館活動認定団体（公民館講座）案内（瀬田分館）

No.		団体名	日時	会費等(予定)	内容
36	手編	手編教室	金曜日（祝休） 13:00～15:00	会費 1,000円/月	編めなくても大丈夫。毎回、楽しくおしゃべりしながら、作品をつくっています。小物からセーターまで、好きなものを手編でつくってみませんか？

令和4年度 和木町公民館活動認定団体（公民館講座）案内（関ヶ浜分館）

No.		団体名	日時	会費等(予定)	内容
37	民踊	関ヶ浜分館 民踊ひまわり	水曜日（祝休） 14:00～16:00	会費 1,000円/月	楽しく出来る簡単な民踊です。

令和4年度 和木町公民館活動認定団体（公民館講座）案内（文化会館）

No.		団体名	日時	会費等(予定)	内容
38	和太鼓	四境太鼓	水曜日（祝休） 19:00～21:00	会費 500円/月	小学生から大人までわきあいあいと活動中です。定期的にプロの指導があります。（島根県在住 今福優先生）発表会も企画開催しています。（不定期）
39	洋裁	洋裁同好会	金曜日（祝休） 9:00～12:00	会費 500円/月	毎回楽しくおしゃべりしながら、小物、ブラウス、パンツ等作ってみませんか？

4 図 書 館

1 運営及びサービス方針

大人と子どもともに、本離れが進んでいると言われて久しいが当館も例外ではない。そのため、子どもに本との出会いの機会をたくさん提供するために、こども園、小学校、中学校等の子どもに関わる地域のさまざまな機関や組織と、希薄になりがちな横の連携を取りながら、より一層、子どもの読書活動の機会を提供することとする。

また、大人に対しても、昨年度同様に展示の強化等を行い、本に対する情報の提供に努め、子どもと併せて読書活動の機会を供することとする。昨年に引き続き、子どもの絵本・小説、大人の小説を中心に読書活動の増進にこれまで以上に力を入れていくこととする。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1月9日より2月20日にかけて、臨時休館を行うなど、他の各種施設同様影響を受けている。消毒液の設置、閲覧席の削減、本を消毒する除菌BOXの増設、AVブースの利用停止、飛沫防止スクリーンの設置など対応は行っているが、今後もコロナ禍に対応した体制が継続的に求められている。

「図書館運営の基本方針」

「和木町第五次総合計画」に基づく、豊かな心を育むまちづくりの一環として生涯学習の推進を図るため、町民の多様化、高度化する情報や教養のニーズに適切に対応することが重要な課題となっている。

このため、和木町立図書館は、生涯学習推進計画の体制として以下のことを基本方針とする。

- (1) 町民の読書活動を支援し、町民一人ひとりが公平に図書館サービスを楽しむことができるような支援体制を構築することを目指す。
- (2) 人間形成（心の教育）の重要性から、子どもの読書活動を積極的に推進し、子どもたちの読書環境の充実を図ることを目標とします。
- (3) 上記の目標を達成するため図書館が主体となり、読書活動推進基盤の整備を図り、普及・啓発活動を行います。
- (4) 利用者の要求に応えうるよう、各分野にわたりバランスのとれた資料の選定収集を図ります。
- (5) 利用者が資料をすぐに見つけられるように、書架及び展示架の案内表示を充実させます。
- (6) 希望する資料の予約・リクエスト制度を周知させ、利用者への資料提供を実現します。
- (7) 利用者からの質問や調査研究に、迅速かつ的確に答えられるように、レファレンスサービス（参考業務）の充実に努めます。
- (8) 館内を常に快適な環境に保ち、利用者がゆったりと気持ちよく過ごせるように配慮します。

2 本年度の努力点

利用者が快適に過ごせる読書環境づくり、充実した資料の収集、提供に心がけてサービスを行った。図書館に来ることで、手に取る本の幅が広がるようにとの思いから、展示コーナーの充実に取り組んでいる。映像化された小説のほか、文学賞受賞作や話題の事柄・人物などに関する書籍をわかりやすく紹介するよう心掛けている。また、季節に沿った実用書や、コロナ禍の今だからこそじっくり読んでほしい大人向け絵本、などの企画展示を随時更新している。

漫然と本を並べるのではなく、目を引くよう棚に余白を設けて配置し、選書しやすいよう工夫している。

児童展示では、昨年度に引き続き、新しく映像化されたノベライズ本コーナーを設置し、漫画から小説にも興味をもつよう促している。また、図書をより探しやすくするため、配置の変更や棚の増設、展示スペースの充実に努めている。

幼児コーナーでは、絵本コーナーのイスを撤去し、展示コーナーを設置している。話題の絵本として、子どもに人気の「工藤ノリコ」のほか「さかいちえ」「柴田ケイコ」「コンドウアキ」やアニマルバスシリーズなどの絵本の展示を通年行い、人気を博した。また、「シゲタサヤカ」「tupera tupera」「はらぺこめがね」などこれから話題になりそうな本の展示を行っている。今後もこのような作品を発掘し貸し出しにつなげていきたい。

一般コーナーと児童コーナーの間に位置するYA（ヤングアダルト）コーナーは、どちらからも目につきやすい場所でもあり、子どもも大人も楽しむことのできる図書を集めている。小学校高学年から中高生向けの小説のほか、映像化された作品の原作やノベライズ本などが人気である。あわせて、親子で取り組みたい話題など意識した企画を展開している。必ず立ち寄る利用者も多く、より充実したコーナーにしたい。

一般展示コーナー



児童展示コーナー



YAコーナー



3 今後の課題

先述のとおり新型コロナウイルス感染症拡大防止のため6週間休館した。休館中も予約による貸し出しを行ったが、総貸出数は大きく減少した。しかし、貸出冊数を月ごとに見ると、コロナ禍以前の令和元年度と大きな開きはない。行動の規制が緩和されることで来館者数・貸出冊数が減少するなど、コロナの感染状況に少なからず影響を受けている。

令和5年度は、感染防止に配慮しつつ、飛沫飛散防止のパテーションを利用し、また、展示を工夫して貸出冊数を増やしたい。

4 事業概要

(1) 読み聞かせ活動

おはなし会サークル「ゆびとま」による小学校でのおはなし会も17年目を迎え、新規メンバーが加入するなど、現在8人のメンバーが活動している。コロナ禍で休止していた図書館での定例おはなし会は令和4年5月より毎月第3土曜日に開催、小学校でのおはなし会も通常の活動に戻った。小学校に加え、こども園では毎月おはなし会、中学校で2か月に1回、校内放送を使って朗読会を行っている。

小学校おはなし会



「物語を楽しんでもらいたい」という気持ちのこもった選書により、子どもたちの笑顔いっぱいの時間となっている。子どもたちの絵本を見るキラキラと輝くまなざし、ろうそくの灯の中で耳を傾ける姿が「ゆびとま」メンバーの活動力となっている。プログラム作りに苦心する点もあるが、おはなし会がより魅力的になるようにメンバーも精力的に活動している。

小学校おはなし会日程

1 学 期		2 学 期	
6 月 13 日	5 年・6 年	12 月 12 日	6 年
6 月 14 日	1 年・2 年・3 年・支援学級	12 月 13 日	3 年
6 月 17 日	4 年	12 月 14 日	支援学級・4 年・5 年
		12 月 16 日	1 年・2 年

こども園おはなし会日程

3 学 期		1 学 期		2 学 期	
3 月 22 日	2 歳児	4 月 18 日	年長	9 月 20 日	年中
		5 月 16 日	年中	10 月 19 日	年少
		6 月 20 日	年少	11 月 14 日	2 歳児
		7 月 25 日	2 歳児	12 月 5 日	年中
		8 月 23 日	年長		

(2) ボランティア育成のための研修

読み聞かせ活動をするなかで、子どもの本に関する知識や、本の選び方など資質向上のため、おはなし会サークル「ゆびとま」では毎月 1 回、勉強会を開催し、他の図書館等で行われた研修会等に参加して得た情報の復伝など情報交換やおはなし会の反省等を含めて行っている。

(3) 図書館行事

① 古本バザー（11月26日）

例年開催していた図書館まつりの規模を縮小して、古本バザーのみ開催した。午前中 2 時間の開催であったが、来場者数は例年と大きく変わらなかった。会場スペースを拡張したこともあり、ゆっくりと本を選ぶ姿が多く見受けられ好評であった。

② 読書感想画コンクール

読書感想画コンクールでは、110 点の応募があり、8 人の入賞者が決定した。子どもらしい大胆な構図や多彩な色を使った作品が揃った。作品を審査していただいた島崎先生からも、子どもらしくのびのび描かれているとの講評があった。

表彰式



入賞者名

金 賞	片山 貴子
	村木 陽人
銀 賞	松本 逢暉
	岡村 堇
銅 賞	吉村 和佳奈
	片山 蒼真
	国弘 花南
	村木 結斗

③ 幼児・小学生への読書活動推進

毎月定例のおはなし会は、コロナの影響で休止していたが、令和4年5月より再開した。館内掲示やHPや貸出票での告知などに努めているが、参加者数の増加は今後の課題となっている。幼い頃から絵本に触れ合うことは、子どもの心を育て、心を豊かにし、想像力を育み、集中力がつき、知的好奇心が育ち、語彙が増え、読解力が身につく、学力に影響することから、親子連れを中心に啓発活動を行っていききたい。

5 図書館利用状況

図書館利用統計のまとめ（本館のみ）（令和4年1月～令和4年12月）

指数	人口（人）	5,974	12月末日現在（総人口）
	登録者数（人）	2,899	12月末日現在（町内のみ）
	貸出冊数（冊）	57,115	12月末日現在（図書のみ）
	蔵書冊数（冊）	74,984	12月末日現在（図書のみ）

貸出点数

月	一般図書	児童図書	郷土資料	雑誌	C D	D V D	R4合計	R3合計	昨年比
1	962	897	1	145	70	16	2,091	5,948	▲ 3,857
2	974	802	4	199	111	8	2,098	4,784	▲ 2,686
3	2,296	2,214	4	397	296	64	5,271	5,651	▲ 380
4	2,391	2,007	4	380	271	50	5,103	5,734	▲ 631
5	2,335	2,063	1	359	213	54	5,025	6,030	▲ 1,005
6	2,352	2,326	5	377	308	48	5,416	6,347	▲ 931
7	2,422	2,953	6	397	309	72	6,159	7,112	▲ 953
8	2,535	3,238	8	388	243	70	6,482	7,288	▲ 806
9	2,263	2,094	6	373	253	48	5,037	1,146	3,891
10	1,869	2,116	6	314	225	36	4,566	5,569	▲ 1,003
11	2,452	2,186	0	407	287	53	5,385	4,852	533
12	1,904	1,964	7	319	255	33	4,482	5,017	▲ 535
R4合計	24,755	24,860	52	4,055	2,841	552	57,115	65,478	▲ 8,363
R3合計	28,288	28,440	48	4,783	3,229	690	65,478		
昨年比	▲ 3,533	▲ 3,580	4	▲ 728	▲ 388	▲ 138	▲ 8,363		

年齢階層別利用人数

月	0-6	7-12	13-15	16-18	19-22	23-29	30-39	40-49	50-59	60-99	R4合計	R3合計	昨年比
	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳			
1	31	76	3	6	1	12	72	119	38	215	573	1,620	▲ 1,047
2	27	53	5	2	0	8	81	123	67	221	587	1,231	▲ 644
3	77	158	20	14	4	31	194	272	124	601	1,495	1,646	▲ 151
4	73	149	25	16	6	28	191	236	133	577	1,434	1,542	▲ 108
5	76	104	20	10	5	21	188	247	134	543	1,348	1,630	▲ 282
6	84	146	23	7	2	21	195	265	153	569	1,465	1,746	▲ 281
7	76	206	39	13	6	23	212	302	164	566	1,631	1,879	▲ 248
8	71	262	45	6	6	28	217	289	160	669	1,753	1,893	▲ 140
9	79	121	13	4	2	20	196	241	136	584	1,396	334	1,062
10	78	133	10	10	3	17	186	229	133	440	1,239	1,476	▲ 237
11	64	121	28	4	3	28	169	226	143	554	1,340	1,345	▲ 5
12	66	152	16	7	3	15	126	223	121	470	1,199	1,290	▲ 91
R4合計	802	1,683	247	99	41	252	2,027	2,772	1,506	6,031	15,460	17,632	▲ 2,172
R3合計	947	2,163	184	145	82	357	2,583	3,298	1,445	6,428	17,632		
昨年比	▲ 145	▲ 480	63	▲ 46	▲ 41	▲ 105	▲ 556	▲ 526	61	▲ 397	▲ 2,172		

５ 体 育 セ ン タ ー

１ 運営方針

町民の健康増進と体育及びスポーツ振興のために、町民誰もがスポーツに親しみが持てる環境の整備、高齢者の健康寿命延伸とこどもの体力・運動技術の向上につなげていくことを主眼に運営をしていく。

２ 本年度の努力点

- (１) 町民スポーツ総参加運動の推進
- (２) 高齢者の健康寿命の延伸
- (３) こどもの体力・運動能力の向上

３ 主催事業

(１) 和木町体育センター・和木町庭球場開放事業

新型コロナウイルスの影響により、１月と２月に休館を行ったため、前半のアリーナ・庭球場の利用者数は例年に比べて少なくなっている。以降は休館期間がなかったこともあり、アリーナの個人利用者数は昨年と比べて増加した。庭球場の利用者数は、前年の同じ月を上回る月もあったが、トータルで見ると昨年に比べて減少している。

単位(人)

	個人合計		団体合計		庭球場		総合計	
	2022 年	昨 年	2022 年	昨 年	2022 年	昨 年	2022 年	昨 年
１ 月	9	166	8	299	53	479	70	944
２ 月	193	0	228	0	107	530	528	530
３ 月	725	938	1,153	1,501	672	641	2,550	3,080
４ 月	416	487	1,255	1,297	642	588	2,313	2,372
５ 月	520	563	966	990	546	604	2,032	2,157
６ 月	393	442	1,549	990	560	550	2,502	1,982
７ 月	488	467	999	1,430	706	626	2,193	2,523
８ 月	460	745	838	835	563	400	1,861	1,980
９ 月	432	52	1,106	142	602	91	2,140	285
10 月	507	381	1,085	1,239	636	602	2,228	2,222
11 月	499	450	1,144	1,696	600	642	2,243	2,788
12 月	594	401	1,103	1,384	555	634	2,252	2,419
合計	5,236	5,092	11,434	11,803	6,242	6,387	22,912	23,282

(2) 和木町スポーツ教室

一般の方々（初心者）を対象とした各種スポーツ教室を実施した。バドミントン教室は小中学生に人気があり、毎年多くの子どもたちが受講している。募集開始約一週間で定員（20 人）に達するほどで、体育協会バドミントン部講師の親切丁寧な指導も好評である。卓球教室は高齢者の申込みが多く、高齢者の憩いの場にもなっており、健康増進に繋がっている。体力づくり講座は今年度は応募がなかったため、開講しなかった。

今後もスポーツ教室を通じて多くの人が体を動かすことの楽しさを覚え、スポーツを始めるきっかけになるよう努めていきたい。

教 室 名	受講者数(前年度)	開講時期	時 間 帯
体力づくり講座	0 人(6 人)	4 月～3 月	毎週土曜 日 9:30～11:30
卓球教室(前期)	22 人(18 人)	4 月～7 月	
バドミントン教室(前期)	20 人(21 人)	4 月～7 月	
卓球教室(後期)	23 人(19 人)	12 月～2 月	
バドミントン教室(後期)	21 人(24 人)	12 月～2 月	



卓球教室



バドミントン教室

(3) プール一般開放

① 対象施設別開放期間・利用者数

	町民プール	小学校プール	中学校プール
開放期間	7/21～8/31 39 日間	一般開放なし	7/21～8/31 39 日間
利用者数 かっこ内は 31 年度	420 人 (780 人)		421 人 (230 人)

② 開放中止の基準と対応

熱中症予防など遊泳中の安全を確保するため、プール開放の中止については教育委員会と協議(雷の場合は中止報告)のうえ決定、周知は町民プール入口に貼り紙をして実施した。

ア 高温注意情報の発令

イ 雷注意報の発令

ウ 台風接近や気象警報の発令

4 各スポーツ関係団体の活動状況

(1) 和木町スポーツ推進委員

和木町スポーツ推進委員は、町におけるスポーツの推進のため、事業の実施にかかる連絡調整や住民に対するスポーツ実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとされており、各委員がそれぞれの立場から活動している。

① 推進委員の構成（令和4年12月28日現在）

役職	氏名
会 長	増井 幸伸
副会長	竹本 秀喜、大谷 浩子
委 員	小林 浩貴、嘉屋 真奈美

② 活動状況

ア スポーツ推進委員会議

期 日 令和4年3月3日、6月8日、9月22日

内 容 各種行事、研修への出席依頼、今年度の事業計画、体力・運動能力調査について

イ 体力・運動能力調査

期 日 令和4年10月1日

内 容 県スポーツ推進課要請の65～79歳までの町内在住者を対象とした体力テスト6種目をスポーツ推進委員協議会主催で実施した。

(2) 和木町体育協会

和木町体育協会は、日常の活動や大会等の実施を通して、健康づくりと技術面の向上を図り、体育の振興及び生涯スポーツの推進に寄与している。近年は高齢化や趣味の多様化により、部員数の減少や部の統廃合が進んでいるため、持続可能な運営を行っていききたい。

① 役員体制(令和4年12月28日現在)

役職	氏名	所属
会長	山瀧 芳久	バドミントン部
副会長	竹本 秀喜	弓道部・硬式テニス部
	嘉屋 真奈美	バドミントン部
理事長	大谷 浩子	バドミントン部
副理事長	原川 泰一	剣道部
	池田 信正	バドミントン部
	乗松 廣	弓道部・硬式テニス部
	小林 浩貴	バドミントン部
監査	中村 恭二	弓道部
	岡崎 紀子	卓球部

② 部名及び部員数(令和4年12月28日現在)

部 名	部員数	部 名	部員数
ソフトテニス	32 人	バドミントン部	34 人
硬式テニス	30 人	弓道	48 人
剣道	6 人	卓球	20 人
合計		170 人	

昨年度比 部員数+6 人

※令和4年度からソフトボール部（レビンズ）が廃部。

③ 主催大会

ソフトテニス部

和木町春季ソフトテニス大会	和木町庭球場	6 月 25 日	17 人
和木町秋季ソフトテニス大会	和木町庭球場	10 月 15 日	13 人
和木町冬季ソフトテニス大会	和木町庭球場	12 月 10 日	20 人

弓道部

射初会	蜂ヶ峯総合公園弓道場	1 月 9 日	13 人
和木町体育協会弓道部月例会 400 回記念大会	蜂ヶ峯総合公園弓道場	10 月 1 日	20 人
納射会	蜂ヶ峯総合公園弓道場	12 月 10 日	19 人

バドミントン部

和木町近郊春季バドミントン大会	和木町体育センター	6 月 12 日	84 人
和木町近郊秋季バドミントン大会	和木町体育センター	12 月 4 日	58 人

(3) 和木町スポーツ少年団

和木町スポーツ少年団は、昭和 47 年に 3 団体 78 人から発足し、少子化が進むなか、団員数が減少しており、令和 4 年 12 月 28 日現在で 7 団体 107 人が活動している。スポーツ少年団活動が健全な心と身体をつくり、仲間同士互いに励ましあい、友情の輪を広げていく場となっている。

① 団員数(令和 4 年 12 月 28 日 現在)

部 名	部員数	部 名	部員数
サッカー	25 人	バレーボール	16 人
ソフトボール	23 人	剣道	9 人
軟式野球	8 人	日本拳法	1 人
ミニバスケットボール	25 人	合計	107 人

昨年度比 団員数▲4 人

② 主催大会の開催状況

- ア 和木町近郊ミニバスケットボール大会 男子の部(2 月 21 日)
- イ 和木町近郊ミニバスケットボール大会 女子の部(2 月 28 日)
- ウ 和木町近郊春季少年ソフトボール大会(3 月 13 日)
- エ 和木町近郊秋季少年ソフトボール大会(台風接近により中止)
- オ 和木町近郊スポーツ少年団サッカー大会(11 月 13 日)
- カ 和木町近郊バレーボール大会(3 月 19 日予定)

③ 各団体の成績(抜粋)

サッカー部

第 19 回玖珂親善サッカー大会 U-19	玖珂総合公園 人工芝競技場	11 月 27 日	第 3 位
--------------------------	------------------	-----------	-------

ソフトボール部

第 38 回中央杯ソフトボール大会	下松スポーツ公園総合グラウンド	5 月 8 日	第 3 位
第 3 回サン・リフォーム旗争奪少年ソフトボール大会	横山河川敷運動広場	6 月 18 日	優勝
若竹友好ソフトボール大会	横山河川敷運動広場	8 月 11 日	優勝
第 12 回ウエスト N カップ	広島市立長束中学校及び長束小学校	9 月 10 日	準優勝
錦町近郊ソフトボール大会	山口県立岩国高校広瀬分校第 1 グラウンド	10 月 16 日	準優勝
第 5 回絆カップ	愛宕スポーツコンプレックス	11 月 12 日	第 3 位
岩国リーグ新人戦	峰ヶ峯総合公園	11 月 27 日	優勝

バレーボール部

第 77 回春季岩柳大島大会	周東体育センター	4 月 17 日	準優勝
第 42 回全日本バレーボール小学生大会 岩柳大島ブロック予選大会	愛宕スポーツコンプレックス	5 月 7, 8 日	第 3 位
第 12 回鑄銭司近郊小学生バレーボール大会	中関小学校体育館、陶小学校体育館	7 月 9, 10 日	C 級優勝
山口県体育大会	山陽小野田市民体育館	9 月 23 日	E 組第 1 位
第 36 回田布施大会	TAIKO スポーツセンター田布施第二体育館	11 月 3 日	準優勝

ミニバスケットボール部

平和カップ（女子）	愛宕スポーツコンプレックス	3 月 21 日	第 3 位
Last Challenge Match（女子）	四季ヶ丘小学校体育館	3 月 27 日	U-12 の部 優勝 U-11 の部 優勝
新人交歓会代替大会東部地区大会（男子）	玖珂小学校体育館	4 月 24 日	C ブロック優勝

第3回グラシヤスカップU-12 (女子)	四季ヶ丘小学校体育館	8月27日	第3位
第7回岩国商工会議所青年部 YEGカップスポーツ大会 (女子)	愛宕カルチャーセンタ ー	10月8日	準優勝
くにきよ園芸カップ(女子)	愛宕カルチャーセンタ ー	10月10日	準優勝
山口県ミニバスケットボール 秋季交歓会東部地区大会 (女子)	柳井市バタフライアリ ーナ、光市総合体育館	10月22,23日	準優勝
山口県ミニバスケットボール 秋季交歓会東部地区大会 (男子)	平田小学校講堂、周東 体育センター	10月22,23日	第3位

(4) 和木町総合型地域スポーツクラブ

平成26年度に設立され、「和木町スポーツ推進委員協議会」と「和木町体育協会」で構成されている運営委員会で協議し、理事会の承認を得た事業を実施している。現在の主な活動は、体育協会が行っていた事業を引く継ぐ形で実施しているが、テニススクールや剣道教室などの独自の事業、自主的な運営が徐々に行われている。今後も各種団体と連携しながら、地域を総括するクラブとしての活動が期待されている。

① 会員構成

合計223人(和木町スポーツ推進委員協議会5人、和木町体育協会170人(和木町スポーツ推進委員協議会4名含む)、和木ミニバス46名、一般2人)

② 事業実施状況

ア テニススクール(和木町庭球場)

対 象 テニスを始めたい、上達したい初心者・初級・中級者

講 師 体育協会硬式テニス部 竹本 秀喜、北野 忠、浴 哲雄、早田 定生

期 間 4月6日～5月25日(第Ⅰ期)、7月6日～8月24日(第Ⅱ期)

10月5日～11月23日(第Ⅲ期)

水曜コース 各8回 18時30分～20時30分

人 数 第Ⅰ期12人、第Ⅱ期12人、第Ⅲ期11人

イ 第32回和木町ゴルフ大会(和木ゴルフ倶楽部)

対 象 一般

期 日 5月5日

参加者 152人

ウ 地域安全交流ソフトボール大会(蜂ヶ峯総合公園グラウンド)

対 象 一般

期 日 5月15日

参加者 4チーム(自治会)44人

エ わきスポーツフェスタ(体育センター、和木町庭球場、蜂ヶ峯総合公園)

期 日 10月10日

内 容 ウォーキング、卓球体験、硬式テニス体験、バドミントン体験

参加者 61人

(ウォーキング30人、卓球体験15人、硬式テニス体験8名、バドミントン体験8名)

オ わき愛あいフェスティバル ニュースポーツ紹介

カ 剣道教室(和木小学校体育館)

※オ、カの行事は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止



テニススクール



地域安全交流スポーツ大会



スポーツフェスタ(ウォーキング)



スポーツフェスタ(バドミントン体験)

5 成果と課題

昨年度までは新型コロナウイルス感染拡大の影響により、利用者が大きく減少していたが、今年度は休館期間もなく、例年どおりの利用者数に戻ってきた。

ここ2年間は多くの行事が中止となったが、今年度は感染対策を徹底したうえで一部を除いてコロナ禍以前に行っていた行事をおおよそ開催することができた。中でも3年ぶりの開催となった、わきスポーツフェスタは前回（平成31年度）を超える参加者数となり、徐々に例年どおりの体育センター運営に戻りつつある。今後はイベント規模の拡大や多世代での参加を促すなどの工夫を施し、誰もがスポーツに親しむことができる機会を提供するとともに、引き続き感染対策の徹底にも努めていきたい。

課題としては体育協会会員の高齢化やスポーツ少年団員数の減少が挙げられる。部員の減少による廃部や休部が増え、今後も会員・団員数は減少傾向にあることが予想される。これに伴い、各部の主催事業も減少しているが、体育協会・総合型地域スポーツクラブともに会長兼理事長を中心に既存の行事の見直しや新規事業の企画を行い、令和5年度から試験的に開催する方向で調整している。また、事務局主体の運営から徐々に役員・会員主体の運営にシフトしつつある。

和木町のスポーツ人口の増加や町民の健康増進のために誰もが気軽にスポーツを始めることができ、継続して取り組むことができる環境を整備することが求められる。各スポーツ団体が主催する教室やイベントがそのきっかけとなるように役員・会員と連携して企画・周知を行い、スポーツの振興に加え、スポーツ・レクリエーションを通じた多世代交流の場を醸成できるよう尽力していきたい。

6 美 術 館

1 運営方針

(1) 事業について

町民の芸術に触れる機会を多数提供するため、今年度は子ども向け展示と新春書初め会作品展示の2つの自主事業を行い、さらに文化協会及び文化協会傘下団体主催の展示を行った。なお、ここ数年開催していた、園小中教職員陶芸展及び姉妹都市交流作品展の開催方法を変更し、園小中それぞれ園舎校舎で展示した。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、各種イベントの延期や中止の可能性があることから、今年度も感染対策を工夫しながら、1 つでも多くの展示、1 日でも多く開館できる方向を検討することを最優先事項とした。

(2) 宣伝

和木美術館に1人でも多く足を運んでいただけるよう、ポスターやチラシを早めに作成して、コミュニティセンターや図書館、学校など人が集まる場所に配布し、町内で広く展示会を呼びかけた。

しかし、多くの方が来て3密状態になることを防ぐため、町外向けの情報発信やフェイブックなどへの掲載は行わないなど最低限の周知活動とした。



2 事業の概要

(1) 自主事業(中止になった事業も記載)

① トリック 3D アート展(夏休み子ども向けイベント)

ア 開催日時 8月5日(金)～8月21日(日) 毎日10時00分～17時00分

イ テーマ トリック 3D アート展

ウ 内 容 トリックアート作者である服部正志氏の作品を展示した。

スマートフォンやデジタルカメラを通すと作品が立体的に見え、来館者がポーズをとることで、立体的な絵に立っているように見える。

- エ 来場者数 1,533 人
- オ 内容選定 新型コロナウイルス感染症対策として、作品の定期的な消毒や入場制限の実施、触らなくても良い作品の展示などをもとに、イベント6社から企画書の提案を受け、コンペを開催し、実施内容を決定した。
- カ 実施報告 3年ぶりに子ども向け展示が開催できた。親子や祖父母3世代での来館者が多く、夏休みの居場所づくりにつなげることができた。
- キ 反省点 来館者多数で密になることを考えて、宣伝は町内に限り、広報わきやこども園と小学校にチラシ配布依頼、中学校や掲示板にポスター掲示だけとしたが、逆に周知不足となり、来館者数が伸び悩んだ。
- 次回開催の際は、新聞掲載や近隣公共施設にチラシやポスター掲示依頼、和木町フェイスブック掲載など、もう少し幅広く宣伝していきたい。



これまでの夏休み展示会における年度別開催内容と来館者数

開催年度	展示内容	開催期間		来館者数	1日あたり
23年度	恐竜展	7月23日～8月21日	30 日間	2,400 人	80.0 人
24年度	トリックアート	7月28日～8月26日	30 日間	7,825 人	260.8 人
25年度	鉄道展	7月27日～8月25日	30 日間	3,310 人	110.3 人
26年度	水族館	8月1日～8月17日	16 日間	5,568 人	348.0 人
27年度	だんぼーる迷路	7月31日～8月16日	17 日間	5,366 人	315.6 人
28年度	トリックアート	7月29日～8月14日	17 日間	5,608 人	329.9 人
29年度	ニンジャキッズ	7月29日～8月14日	17 日間	4,164 人	244.9 人
30年度	バーチャル飛行体験	8月3日～8月19日	17 日間	2,431 人	143.0 人
元年度	光と遊びデジタルアートパーク	8月2日～8月18日	16 日間	4,090 人	255.6 人
2年度	※実施中止		日間	人	人
3年度	※実施中止		日間	人	人
4年度	トリック3Dアート展	8月5日～8月21日	17 日間	1,533 人	90.2 人

※26年度と元年度は台風接近のため各1日ずつ臨時休館

② 和木町教職員陶芸展・姉妹都市交流作品展(今年度は実施せず)

和木町在住の陶芸家、宮本健吾氏による指導のもと、こども園や小学校、中学校の教職員、教育委員会事務局職員が夏季研修の一環で作成した陶芸作品を展示した。併せて令和2年度から姉妹都市の北海道恵庭市小中学生9校の交流作品も展示し、令和3年度は、合計464点と非常に多くの作品を展示していた。

令和4年度は、児童生徒と同年代の恵庭市の子どもたちの絵画や書道作品、身近な先生方の陶芸作品を気軽に鑑賞できるようにするため、陶芸作品及び姉妹都市交流作品は、園小中内で展示や掲示することとし、令和4年度は美術館での展示を実施しないこととした。

③ 新春日米書初め会作品展示(1月11日～25日・開催場所を文化会館に変更)

例年1月に開催される「新春日米交流書き初め会」の参加者である和木小・中学校児童生徒や米海兵隊岩国基地の子どもたちの書道作品、当日の写真、参加者への指導を行った大竹高等学校生徒の大書作品と多様な作品を展示しているが、令和3年度はコロナ禍で「新春日米交流書き初め会」自体が中止になったため、展示会も中止となった。また、来館者が毎回僅少であることが課題である。

なお、令和4年度は「新春日米交流書き初め会」を開催し、作品展は文化会館ホワイエで行った。これは、作品数と来館者数を考慮し、教育委員会事務局内で協議した結果である。

(2) 共催事業

① 岩国・和木学校美術展覧会(中止：例年は1月開催)

和木町及び岩国市内にある中学校生徒の絵画や造形作品を多数展示し、令和元年度は3日間の開催で1,610人の来館があった。これは、出品作品が多く、出品者及び保護者の方が多数来館したためである。なお、展示や撤収作業は各学校の教職員が分担して行っている。

② 岩国写生大会入賞作品展示会(中止・例年は6月開催)

新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、写生大会が中止になったことにより、展示会も中止となった。

(3) 貸館事業

文化協会及び文化協会加入団体主催の展示が3種類行われた。一方で、公民館認定団体や都市建設課イベントでの使用があり、例年になく多種多様な団体や使用があった。

「第9回町美術展覧会」は、新型コロナウイルスオミクロン株の急速な感染拡大により、美術館や文化会館などの町内公共施設が1月9日から2月20日まで臨時休館になり、1月29日の作品搬入日や2月13日から27日までの展示会期間に重なることから、やむなく中止となった。

「キッズ・フォトコンテスト作品展」は、文化会館で行われている「キッズ芸能祭」の代替事業で、2年連続の開催である。子ども達が撮影した各場面の写真を文化協会事務局に送付し、印刷・審査したうえで展示した。魅力的な写真や面白い写真など様々な写真が並び、来館者や出品者から第3回目を開催してほしいとの声があった。

「令和4年和木町文化協会文化祭展示会」は、2週・合計10日間の開催となり、お茶席は3年連続で中止となった。この展示会は、令和元年度まで5週にわたって展示会が行われたが、出展団体の高齢化による活動縮小に加え、コロナ禍で十分に活動ができず出展を辞退した団体もあり、開館日数が短縮した。また、感染症対策として入場者を抑制するため十分な宣伝ができなかった展示会があったことも減少要因のひとつと考えられる。詳細は総合コミュニティセンターの文化協会事業を参照いただきたい。

なお、地域振興協会が主催するイベントや一般団体による製品展示会なども、残念ながら中止となった。

3 成果と課題

美術館事業は、和木美術館設置の趣旨である、「町民の芸術文化に対する意識を深め、地域の活性化及び地域づくりを進める」ことについて、和木町文化協会主催による文化祭展示会をはじめとする関係各団体による利用もあるが、利用者と来館者ともに一部町民に限られている。

先述のとおり引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で一部行事が中止となったため、開館日数は62日(コロナ前の46.3%)と過去2番目に少なく、来館者数は2,975人(コロナ前の33.2%)となった。

多くの来館者があった岩国・和木学校美術展覧会、マルシェが中止になったことや外出自粛などで1日あたりの来館者数が少なくなった。

また、感染防止対策として入場者を抑制するため、十分な宣伝ができなかった展示会があったことも減少要因のひとつと考えられる。

施設の規模や設備から大々的な展示は不可能な状態であることから、いまあるイベントの内容充実や各種団体との知恵の出し合いで活気ある施設にしていく必要がある。

一方で、公民館認定団体の1つである「健康体操 ルンルンクラブ」が、コロナ禍で小学校多目的ルームを使用できず、美術館で通常活動を行ったことや、都市建設課主催でスポーツに関するイベントが開催されるなど、展示会以外の美術館利用も徐々に拡大している。

令和5年度は、和木町町制50周年記念にちなんだイベントが多々開催される予定であり、多種多様な使用や来客が見込め、これらの方々が、今後定期的に利用していただけるよう、働きかけていきたい。

4 図表

(1) 美術館各展示会とイベントの入館者等実績

展示・使用名称		開催日	日数	来館者数
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	4月11日	1 日	25 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	4月25日	1 日	22 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	5月9日	1 日	23 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	5月23日	1 日	25 人
和木絵画クラブ第22回絵画作品展	☆	6月3日 ～ 6月6日	4 日	197 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	6月13日	1 日	24 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	6月27日	1 日	20 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	7月11日	1 日	22 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	7月25日	1 日	24 人
トリック3Dアート展準備	○	8月3日	1 日	6 人
トリック3Dアート展準備	○	8月4日	1 日	5 人
トリック3Dアート展	○	8月5日 ～ 8月21日	17 日	1,533 人
トリック3Dアート展片付け	○	8月22日	1 日	4 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	9月12日	1 日	24 人
食育セミナー会場	◇	9月25日	1 日	25 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	9月26日	1 日	27 人
第2回和木町キッズ・フォトコンテスト準備	☆	10月7日	1 日	10 人
第2回和木町キッズ・フォトコンテスト	☆	10月8日 ～ 10月15日	8 日	147 人
和木町文化協会文化祭展示会準備	☆	10月25日	1 日	44 人
和木町文化協会文化祭展示会1	☆	10月26日 ～ 10月30日	5 日	288 人
和木町文化協会文化祭展示会準備	☆	11月1日	1 日	38 人
和木町文化協会文化祭展示会2	☆	11月2日 ～ 11月6日	5 日	292 人
和木町文化協会文化祭展示会片付	☆	11月7日	1 日	5 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	11月14日	1 日	27 人
スポーツ関連イベント	◇	11月27日	1 日	45 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	11月28日	1 日	26 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	12月12日	1 日	27 人
健康体操 和木ルンルンクラブ	□	12月26日	1 日	20 人
計			62 日	2,975 人
平均（人/日）				48.0 人

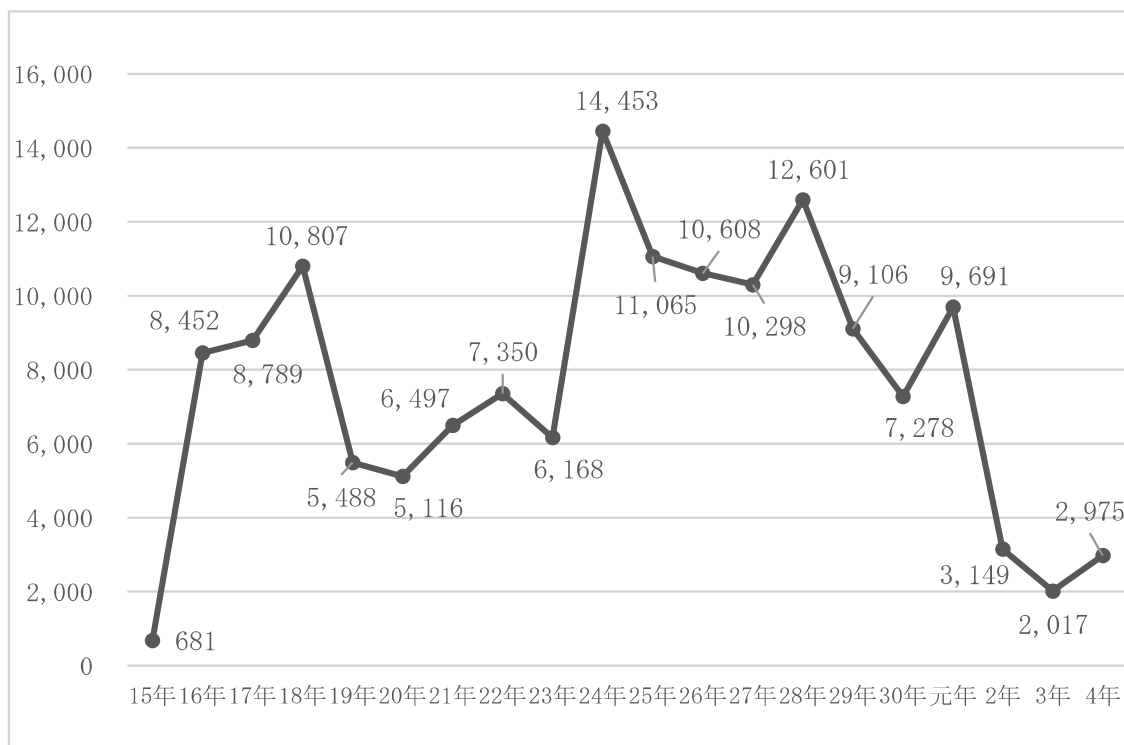
※○は主催事業、☆は文化協会及び所属団体の主催事業、□は公民館講座認定団体、
◇は教育委員会共催事業

(2) 各年度の数值（開館日数・入場者数等）

① 年間開館日数の推移



② 年間来館者数の推移



◆教育委員会関係資料

学級編制状況（５月１日現在）

【和木こども園】

学 年	学 級 名	男子	女子	合 計	担 任 名
0 歳児	ひよこ組	2	2	4	松井千登世・中村 聡子
1 歳児	り す組	6	5	1 1	村上 菜那・嘉屋 祥子
	うさぎ組	7	4	1 1	村中 則子・谷本 亜弥
2 歳児	ぱんだ組	1 2	4	1 6	新谷 典子・阿部 彩茄
	きりん組	1 2	5	1 7	福成 莉沙・山田帆乃香
年 少 (3 歳児)	りんご組	8	1 0	1 8	福村 和子
	ばなな組	8	1 0	1 8	宮田 知佳
	ぶどう組	8	1 1	1 9	山田 優里
	計	2 4	3 1	5 5	
年 中 (4 歳児)	たんぼ組	1 0	9	1 9	藤野麻須美
	わかば組	1 0	8	1 8	中本 優花
	つくし組	9	9	1 8	杉岡加奈子
	計	2 9	2 6	5 5	
年 長 (5 歳児)	つ き組	1 2	9	2 1	松田香奈江
	ほ し組	1 2	9	2 1	黒川 慶子
	に じ組	1 3	8	2 1	荒瀬 早希
	計	3 7	2 6	6 3	
合 計		1 2 9	1 0 3	2 3 2	

【和木小学校】

学 年	学 級 名	男子	女子	合 計	担 任 名
1 年	1 組	1 5	1 5	3 0	吉岡めぐみ
	2 組	1 7	1 4	3 1	阿部 栢介
	計	3 2	2 9	6 1	
2 年	1 組	2 0	1 3	3 3	宇治野暁子
	2 組	2 0	1 4	3 4	竹本 哲朗
	計	4 0	2 7	6 7	
3 年	1 組	1 5	2 0	3 5	吉田 幸司
	2 組	1 5	2 0	3 5	黒杭 弥生
	計	3 0	4 0	7 0	

4 年	1 組	1 6	1 8	3 4	藤谷 育子
	2 組	1 5	1 9	3 4	伊東あやめ
	計	3 1	3 7	6 8	
5 年	1 組	1 7	1 8	3 5	須賀 和憲
	2 組	1 7	1 7	3 4	浴 加奈
	計	3 4	3 5	6 9	
6 年	1 組	1 4	1 6	3 0	村田 愛
	2 組	1 2	1 5	2 7	福屋 悠一
	計	2 6	3 1	5 7	
やまもも		6	0	6	河津美奈子
たんぽぽ 1		3	1	4	萬 純子
たんぽぽ 2		5	2	7	田中 翔
合 計		2 0 7	2 0 2	4 0 9	

【和木中学校】

学 年	学 級 名	男子	女子	合 計	担 任 名
1 年	1 組	1 2	2 1	3 3	永田さなえ
	2 組	1 3	2 2	3 5	宮本 大輔
	計	2 5	4 3	6 8	
2 年	1 組	1 5	1 6	3 1	田中 裕万
	2 組	1 5	1 7	3 2	光貞 賢志
	計	3 0	3 3	6 3	
3 年	1 組	1 4	1 6	3 0	杉岡 匠
	2 組	1 4	1 7	3 1	國光 陽子
	計	2 8	3 3	6 1	
いぶき		0	2	2	山下香緒理
きぼう		1	0	1	藤本えり子
合 計		8 4	1 1 1	1 9 5	

令和４年和木町教育委員会施設関連工事等

1 令和３年度(令和４年１月１日以降の契約)の主な工事、修繕等(５０万円以上)

2 令和４年度(令和４年１２月３１日以前の契約)主な工事、修繕等(５０万円以上)

(１) 和木中学校

① 和木中学校 外壁調査・改修設計業務

ア 契約金額 ３，６３０，０００円

イ 委託業者 (株)ますもと設計事務所

ウ 業務期間 令和４年１０月４日～令和５年２月２８日

エ 目 的 業務場所の外壁タイルの一部が剥落しており、剥落危険性がある場所を調査し、改修工事を実施するための設計を行った。

(２) 和木町総合コミュニティセンター

① PCH-1 冷温水ポンプ取替工事

ア 契約金額 １，１４５，１００円

イ 委託業者 (株)桐田商会

ウ 業務期間 令和４年４月２６日～令和４年１０月２３日

エ 目 的 PCH-1 冷温水ポンプの老朽化し、故障が頻発しているため取替えた。

② 和木町総合コミュニティセンター・保健相談センター

外壁調査・改修設計業務

ア 契約金額 ７，２６０，０００円

イ 委託業者 (株)松重設計

ウ 業務期間 令和４年１０月４日～令和５年２月２８日

エ 目 的 業務場所の外壁タイルの一部が剥落しており、剥落危険性がある場所を調査し、改修工事を実施するための設計を行った。

③ 和木町総合コミュニティセンター 空調機取替工事

ア 契約金額 ２４，２００，０００円

イ 委託業者 (株)桐田商会

ウ 業務期間 令和４年１０月２０日～令和５年３月３１日

エ 目 的 吸収式冷温水発生機や冷却塔、冷却水循環ポンプが老朽化し、故障が頻発しているため取替えた。

(3) 和木町文化会館

① 文化会館発電施設塗装工事

- ア 契約金額 616,000円
- イ 委託業者 (株)和木商事
- ウ 業務期間 令和4年4月25日～令和4年12月28日
- エ 目 的 屋上の発電機と高圧施設の外装の錆が著しく、雨水の侵入で機器が故障し、館内が長期停電になる恐れがあるため塗装した。

② 非常用蓄電池取替工事

- ア 契約金額 541,200円
- イ 委託業者 (有)扶双
- ウ 業務期間 令和4年6月7日～令和4年12月28日
- エ 目 的 発電機のバッテリーが老朽化し、全館停電の恐れがあるため取替えた。

③ 和木町文化会館 空調設備端末制御装置等更新工事 設計業務

- ア 契約金額 2,574,000円
- イ 委託業者 (株)藤沢設計
- ウ 業務期間 令和4年10月4日～令和5年2月28日
- エ 目 的 3階機械室の空調設備が老朽化し、年不具合が多発しているため、取替える必要がある場所の選定、工事費設計を行った。

④ 和木町文化会館 空調中央監視装置更新工事

- ア 契約金額 20,790,000円
- イ 委託業者 (株)きんでん岩国営業所
- ウ 業務期間 令和4年10月20日～令和5年3月31日
- エ 目 的 事務室にある中央管制盤が老朽化し、故障が頻発していたため、中央監視装置本体を取替えた。

⑤ 和木町文化会館 照明設備改修工事

- ア 契約金額 52,800,000円
- イ 委託業者 (株)きんでん岩国営業所
- ウ 業務期間 令和4年10月26日～令和5年3月31日
- エ 目 的 舞台照明器具は老朽化が著しい場所をLED化し、調光操作卓全体が老朽化したため、本体ごと取替えた。

(7) 奨学金制度

本町独自の奨学金制度も発足以来54年目を終了し、基金積立額は、総額44,400,876円に達し効果的に活用されている。

経済的困窮家庭の子女を対象としている奨学金の貸付状況は、次に示すとおりである。

○ 奨学金貸付状況

年 度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年(見込)
	新規 1	2	4	2	8	4	4	2	2	0	1	1	2	3	1	0
大 学	継続 3	3	3	6	7	9	10	10	4	5	2	2	2	4	4	5
	計 4	5	7	8	15	13	14	12	6	5	3	3	4	7	5	5
	累計 560	565	572	580	595	608	622	634	640	645	648	651	655	662	667	672
奨 学 生 額	新規 0	0	0	1	1	1	1	2	0	0	1	1	0	1	0	0
	継続 2	2	0	0	1	2	3	2	4	1	0	0	1	0	1	1
	計 2	2	0	1	2	3	4	4	4	1	1	1	1	1	1	1
大 学 ・ 高 校 計	累計 166	168	168	169	171	174	178	182	186	187	188	189	190	191	192	193
	新規 1	2	4	3	9	5	5	4	2	0	2	2	2	4	1	0
	継続 5	5	3	6	8	11	13	12	8	6	2	2	3	4	5	6
	計 6	7	7	9	17	16	18	16	10	6	4	4	5	8	6	6
	累計 726	733	740	749	766	782	800	816	826	832	836	840	845	853	859	865
貸 付 金	大 学 1,848,000	2,550,000	3,192,000	3,588,000	6,612,000	5,544,000	6,156,000	5,376,000	2,808,000	2,328,000	1,404,000	1,344,000	1,788,000	3,192,000	2,208,000	2,208,000
	高 校 396,000	156,000	0	240,000	480,000	636,000	792,000	708,000	708,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000
	計 2,244,000	2,706,000	3,192,000	3,828,000	7,092,000	6,180,000	6,948,000	6,084,000	3,516,000	2,568,000	1,644,000	1,584,000	2,028,000	3,432,000	2,448,000	2,448,000
償 還 額	累計 151,273,000	153,979,000	157,171,000	160,999,000	168,091,000	174,271,000	181,219,000	187,303,000	190,819,000	193,387,000	195,031,000	196,615,000	198,643,000	202,075,000	204,523,000	206,971,000
	大 学 4,063,500	2,853,600	2,120,200	1,757,500	1,219,000	1,454,900	3,637,600	3,670,500	3,451,300	5,716,700	3,150,200	3,465,200	3,665,700	3,381,400	2,888,500	3,882,000
	高 校 78,000	204,500	121,000	178,500	106,000	73,000	162,000	180,000	328,000	331,000	458,000	630,000	652,500	550,000	390,000	331,000
償 還 了 者	計 4,141,500	3,058,100	2,241,200	1,936,000	1,325,000	1,527,900	3,799,600	3,850,500	3,779,300	6,047,700	3,608,200	4,095,200	4,318,200	3,931,400	3,278,500	4,213,000
	累計 130,564,200	133,622,300	135,863,500	137,799,500	139,124,500	140,652,400	144,452,000	148,302,500	152,081,800	158,129,500	161,737,700	165,832,900	170,151,100	174,082,500	177,361,000	181,574,000
	大 学 5	2	3	2	3	1	1	3	0	4	1	3	4	7	1	1
	高 校 1	0	2	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	2	3	1
基 金 の 額	計 6	2	5	3	3	1	2	3	0	5	1	4	4	9	4	2
	累計 196	198	203	206	209	210	212	215	215	220	221	225	229	238	242	244